

第十六回 帝國議會 衆議院議事速記録第十三號

明治三十五年二月八日(土曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第十二號 明治三十五年二月八日

午後一時開議

- 第一 北海道土功組合法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案(大津律一郎) 第一讀會
- 第四 府縣鄉村社費ニ關スル法律案(小田實一) 第一讀會
- 第五 市制町村制中改正法律案(小田實一) 第一讀會
- 第六 倉庫營業ニ關スル法律案(元田肇) 第一讀會
- 第七 登錄稅法中改正法律案(鹽田忠左) 第一讀會
- 第八 國債證券買入銷却法廢止法律案(松田正名) 第一讀會
- 第九 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(早川龍介) 第一讀會
- 第十 國稅徵收法中改正法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十一 府縣稅ヲ徵收シタル市町村交付金ニ關スル法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十二 課稅ニ關スル法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十三 監視廢止ニ關スル法律案(安藤龜太) 第一讀會
- 第十四 市制中改正法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十五 町村制中改正法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十六 郡制中改正法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十七 府縣制中改正法律案(菅野善右) 第一讀會
- 第十八 舞鶴鐵道速成ニ關スル建議案(石黒瀨一郎) 第一讀會
- 第十九 貧民救助、勞働者及借地人保護ニ關スル建議案(安藤龜太) 第一讀會
- 第二十 治水ニ關スル建議案(佐々木正藏) 第一讀會

議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

政府委員左ノ通仰付ケラレタル旨桂内閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ
法典ニ關スル政府委員
東京帝國大學法科大學教授法學博士 梅 謙次郎君
東京帝國大學法科大學教授法學博士 岡野 敬次郎君
桂内閣總理大臣ヨリ財政及行政整理ノ程度ニ關スル質問ニ對シ、内海内務
平田農商務會禰大藏三大臣ヨリ足尾銅山鑛毒處分ニ關スル質問ニ對シ左ノ
答辯アリ

衆議院議員高木正年君提出財政及行政整理ノ程度ニ關スル質問ニ對シ別紙
答辯書及御回付候也
明治三十五年二月六日
衆議院議長片岡健吉殿
内閣總理大臣子爵桂太郎

(別紙) 衆議院議員高木正年君提出財政及行政整理ノ程度ニ關スル質問ニ對
スル答辯書

財政行政整理ノ程度及其範圍ハ調査ノ結果ニヨルニアラサレハ確言シ難シ
右及答辯候也
明治三十五年二月
内閣總理大臣子爵桂太郎
大藏大臣 曾禰荒助

衆議院議員箕浦勝人君外四名提出足尾銅山鑛毒處分ニ關スル質問書
紙内務農商務大藏三大臣答辯書及御回付候也
明治三十五年二月六日
衆議院議長片岡健吉殿
内閣總理大臣子爵桂太郎

(別紙) 衆議院議員箕浦勝人君外四名提出足尾銅山鑛毒處分ニ關スル質問書
ニ對スル答辯書

足尾銅山鑛毒事件ニ關シテハ政府ハ事實ノ調査ヲ爲スノ必要アルヲ認メ特
ニ調査委員ヲ設ケ之ヲ調査セシムル見込ナリ
明治三十五年二月三日
内務大臣男爵内海忠勝
大藏大臣 曾禰荒助
農商務大臣 平田東助

委員長理事左ノ通當選セラレタリ
骨牌稅法案
齋藤 壽雄君 理事
粗製樟腦、樟腦油專賣法案
西村 眞太郎君 理事
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
大瀧 傳十郎君 理事

委員長 齋藤 壽雄君 理事
委員長 西村 眞太郎君 理事
委員長 大瀧 傳十郎君 理事
理事 田中 喜太郎君

耕地整理法中改正法律案外一件
委員長 門脇 重雄君
理事 佐藤 伊助君

幼者飲酒禁止法案
委員長 永井 嘉六郎君
理事 根 本 正君

營業稅法中改正法律案
委員長 木村 誓太郎君
理事 北田 豐三郎君

利根川修築ニ關スル建議案
委員長 鈴木 儀左衛門君
理事 初見 八郎君

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
不動產登記法中改正法律案
提出者 浦野 錠平君 永井 嘉六郎君 安藤 龜太郎君

大岡育造君ヨリ清國米穀輸出解禁ニ關シ、白井哲夫君ヨリ韓國ニ於ケル露國ノ軍港要求ニ關シ質問主意書ヲ提出セラレタリ
〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

清國米穀輸出解禁ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十五年二月七日
提出者 大岡 育造
贊成者 河口 善之助
外三十一名

清國米穀輸出解禁ニ關スル質問主意書
我政府ハ今回清國トノ通商條約ヲ改訂スルニ當リ彼國米穀ノ輸出禁止ヲ解除セシメントスト聞ク果シテ然ラハ是レ我農業者ニ不利ヲ來タシ從テ我經濟及財政ニ大打撃ヲ招クノ憂アリト認ム敢テ政府ノ意見ヲ問フ
右及質問候也

韓國ニ於ル露國ノ軍港要求ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十五年二月八日
提出者 白井 哲夫
贊成者 重岡 薰五郎
外三十名

質問主意書
京城電報ニヨレハ露國公使ハ韓國政府ニ對シ軍港ニ供スルノ目的ヲ以テ韓國東南面ニ於テ一ノ港灣ヲ租借セントスルノ要求ヲ爲シタリト云フ事實果シテ然リトセハ我カ政府ハ之ニ對シ何等ノ處置ヲ取リタルヤ
右及質問候也

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ附キ諸君ニ御諮リ致シマス、金尾稜藏君公務ノタメ本月五日ヨリ二十日間ノ請暇ヲ申出ラレマシテ、許可シテ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス
〔西谷金藏君演壇ニ登ル〕

○西谷金藏君(二百八十一番) 滿場ノ諸君、本員ハ第一期鐵道線路完成ニ關

スル質問書ヲ、過日本院ニ提出シテ置キマシタ、其質問ヲ致シマス趣意ハ、昨日ノ官報院外、即チ本院ノ速記ノ中ニ掲載セラレテ居リマスレバ、茲ニ改テ其簡條ノ朗讀ハ省略致シマス、今日ハ唯今ノ報告ヲ聽キマスレバ、質問書ヲ提出セラレタ方ガ、段々アルヤウデゴザイマスカラ、成ルベク簡短ニ其要旨ヲ申上ゲマス、此第一期鐵道ノ完成ニ關シマスルコトハ、當期議會ニ於テ始テ起ル問題ニアラズシテ、是ヨリ先十三議會十四議會ノ當時ニ於キマシテモ、本會ハ殆ド滿場一致ヲ以テ、政府ニ速成ヲ促シマシタ次第デゴザイマス、又此十五議會ニ於テハ、政府カラ提出致シマシタ鐵道敷設法ノ改正案ガ、委員會ニ付セラレマシタ時ニ、委員ト特別委員ト政府委員トノ間ニ、種々交渉セラレマシタコトモゴザイマシタ、其當時ノ速記ニ據レバ、政府ハ今期議會即チ十六議會マデニハ、一期線ニ對スル總テノ始末ヲ爲シテ、議會ノ協贊ヲ求ムルト云フコトヲ申シテ居リマシタ、デ其事ノ條件トシテ、其當時ノ委員會ハ其改正案ニ協贊ヲ與ヘテ居ルニモ拘ラズ、今期ノ議會モ最早三分ノ二以上ヲ過ギテ、將ニ議會ハ會期ノ切迫シマスル今日ニ當テモ、何等ノ沙汰モゴザイマセヌハ、政府ハ此一期線ニ對シテ、如何ナル處置ヲ爲スノデアルカト云フコトデゴザイマス、諸君、明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條ニ定メル所ノ、一期線路ト云フモノハ、初十二箇線路デゴザイマシタ、其中五線路ヲ明治二十九年ノ頃ニ至テ、私設會社ニ許可致シマシタ、其私設會社ニ許可致シマシタ線路ハ、北越線ノ中直江津新發田間、近畿豫定線ノ中京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道、奈良縣下高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山ニ至ル鐵道、山陽豫定線ノ中廣島縣下三原ヨリ山口縣下馬關ニ至ル鐵道、九州豫定線ノ中佐賀縣下佐賀ヨリ長崎縣下長崎及佐世保ニ至ル鐵道及熊本縣下熊本ヨリ三角ニ至ル鐵道、是ダケノ線路ヲ一期線ノ中ヨリ私設ニ許可致シマシタ、此私設ニ許可致シタモノガ、如何ナル程度ニ進ンデ居ルカト申シテ見マセウナレバ、此私設ニ許可セラレタ所ノ線路ハ、先ヅ以テ完成ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、中ニ就イテ京都線ノ一部ト北越線ノ極ク僅少ナル部分ガ殘テ居ルノ外ハ、孰モ完成ヲ致シテ居ルノデアル、然ルニ殘ル一期線、即チ官設線トシテ經營セラル、所ノ中央線始メ、六線即チ福島線、篠井線、北陸線、中央線、鹿兒島線、山陰山陽聯絡線、吳線デアリマス、此線路ノ功程ハ如何デアアルカト云ヘバ、敦賀富山間ノ一線ガ僅ニ成功致シタノミニシテ、他ハ未ダ中央ニモ達シテ居ラヌ、中ニ就イテ八代鹿兒島、姫路堺間、海田市吳間ノ線路ノ如キハ、今僅ニ著手シタルニ過ギナイノデアル、然ル處其後二十七八年ノ戰役ノ結果、物價ガ偉大ナ騰貴ヲ致シタメニ、工費ニ不足ヲ生ジマスルガ故ニ、追加豫算トシテ奧羽線、篠井線、吳線等ハ、孰モ不足ノ追加ヲセラレマシタ、議會モ一々之ニ協贊ヲ與ヘテ居リマスガ、其中鹿兒島線、山陰山陽聯絡線、中央線、此三線ニ附イテハ、未ダ不足追加ノ要求モ提出セザルノミナラズ、其中ノ一線路、即チ山陰山陽聯絡線ニ附キマシテハ、政府ハ未ダ或ル部分ニ附イテハ調査スラ致シマセヌ、實測調査スラ致シマセヌノデアリマス、是ハ實ニ不都合ナル處置ト云ハザルヲ得ヌデアラウト考ヘマス、然ルニ一方ヲ見マスレバ今年ノ總豫算ヲ以テ、三十五年度ヨリ三十八年度ニ至ル四箇年間ノ繼續トシテ、十五万五千九百四十八圓七十四錢ト云フ金ヲ、測量費トシテ要求シ、更ニ第二期以下ノ線路ヲ測量致シマスル

格別ニ我農業者ニ影響ヲ與ヘヌヤウデゴザイマスケレドモ、今日日本ノ政府ノ勤ヲ以テ、支那ノ中央政府ノ禁令ヲ解カシメントスル所ノ米ハ、斯ノ如キノ米デハナイノデ、支那ノ中央政府ノ盛ニ出來ル所ノ米デアルデス、其作り方モ亦其米モ日本ト大差ハナイ、曾テ私ハ明治二十八年ニ支那ノ中央及南方ヲ旅行シマシタトキニ經驗ガアリマスルガ、御承知ノ通ニ、支那ノ旅行ハ南船北馬ト申シテ、北ノ方ニハ陸ガ多クテ、多ク旅行者ハ馬ニ乘リマスガ、南方ノ旅ヲスルニハ、各船ヲ備テ此船ヲ旅行ヲ致シマス「ボーイー」ヲ一人雇入レテ、是テ自炊ヲシツ、歩ルクノデスガ、料理萬端ハ日本人ノ吾々ノ仲間ハ、己ノ意ニ適スルヤウニ致シテ日ヲ暮シマシタガ、其時分ノ經驗ニ據ルト、支那米ナルモノハ、實ニ旨イモノデアル、決シテ日本ノ米ト其味ヲ異ニシナイノデス、先ヅ日本ノ米ノ一等米ニハ無論往キマスマイガ、二等三等米ニ當ル米ハ、其通例ト見テ差支ナカラウト思ヒマス、支那ノ旅店等テ食ベマス、少シ味ガ違フヤウデアリマスガ、彼等ハ日本人ト飯ノ炊方ガ違フテ居ッテ、日本人ハ粘リヲ喜ブガ、彼等ハ粘リヲ嫌フテ、殊ニ一度湯デ燻テ粘リヲ去ッテ仕舞フノデアアルガ、吾々日本人流ニ之ヲ炊イテ見ルト、粘リガアッテ旨味ガアッテ、少モ違ハナイ、然シテ其價ヲ聽イテ見マスルト、何シテモ二十八年頃デゴザイマシタガ、同行者ノ中ニハ、商業會議所カラ往ッテ者モ居ッテ、算盤ノ高い人ガアッテ、日本ノ米ノ一升ニシテ、六錢五厘カ七錢デ買ヘル譯ニナッテ居ル、是ハ大層安イ、之ヲ日本ニ輸入スレバ宜カラウト云フ說ヲ立テタ人モゴザイマシタガ、其後輸出禁止デアリマスシ、ソレスラ深ク研究モセズニ止メマシタ、然ルニ今度ハ日本デ働イテ、此米ヲ日本ニ輸入シタイト云フコトデアアルサウデゴザリマス、此米ガ日本ニ入ルヤウニナリマシタナラバ、勢日本ノ米ノ價ハ下ガルニ違ヒナイト思ヒマス、ソコデ日本ノ米價ハ今ヨリモ下ガッテ、ソレデ日本ノ農民ハ立行クモノデゴザイマセウカ、或ハ好テ外國カラ安イ米ヲ入レルト云フ位ナラバ、日本ノ農業者ハ今現ニ多クノ利益ヲ得ッ、アルト、日本ノ政府ハ見ツ、アルノデアリマセウカ、私ノ見ル所デハ、農業ト云フ中殊ニ此米ヲ主トシテ作ル所ノ農業ハ、餘程割合ノ惡ルイ農業デアルト思ヒマス、此農民ガ今日ヨリ勘定ノ惡ルイ位地ニ立ッテ、果シテ日本ノタメニ利益デアアルヤ否ヤ、農民ノ負擔ハ申上ゲルマデモナク、諸君ノ御承知ノ通、地租ヲ拂ヒ、又地方ノ稅ニ於テ地租割ヲ拂ヒ、地價割ヲ拂ヒ、町村等ニ於テハ段別割ヲ拂フト云フヤウナ譯デ、年々少クモ八千万近ク、精算シタナラバ或ハ一億万宛ヲ、米ヲ主要トスル所ノ農業者ハ、政府及地方ノ政治ニ差出シテ居ルモノデアアル、此ノ如ク日本ノ政治ニ大ナル負擔ヲシテ居ル所ノ農業者ハ、果シテ利益アル所ノ業ヲ營ミツ、アルカト考ヘテ見マスルト、是程割合ノ惡イ業ハナイノデアリマス、農商務省ノ取調ベタ所ノ表ニ據ッテ見マスルト、日本ノ農業ハ初植付カラ收穫其仕上マデテ人夫ヲ備ッテ、人夫ニ賃銀ヲ渡シタ上デ、果シテ利益ガアルト精算スレバ、損失シカナイノデアアル、利益ハ決シテナイノデアアル、小作人ガ自ラ耕シテ、其賃銀ヲ拂フコトナシニ收入スルトシテ、一段ニ僅ニ七圓デアアル、地主ノ算ガ如何ニト見マスルト、地價ノトキノ相場ノ百圓ニ對シテ五圓ノ收入シカナイノデアアル、商業家工業家等ガ會社ヲ立テ、一ノ業ヲ營ムトシテ算ヲ立テトキハ、此仕事ハ二割ニナルト云ヘバ人ガ集マル、ソレデ實際ハ一割五分カモ知レナイ、又一割デモ漸ク立ッ

テ往ク位デアアルガ、初ヨリ一割ニナルカナラヌカノ仕事ニハ、人氣ハ寄ラヌ位デアアル、然ルニ此農業者ノ仕事ヲ見マスルト、一割ニナラヌ所デアハナイ、七分ニナラヌ所デアハナイ、五分ニシカナラナイ、若シ民間ノ他ノ商業ノ會社ガ、五分シカ收入ガナイト云フコトニナリマシタナラバ、五十圓拂込ノ株券ハ、恐ラク三十圓ニ下落スルデアアラウト思ヒマス、此ノ如キ割合ノ惡ルイ仕事デシテ、而シテ日本ノ政治ニ最モ多クノ義務ヲ負擔シテ、其租稅ヲ供給スル所ノ農民ノ仕事デアアル、此人ノ產物ニ對シテ、政府ハ保護ヲセヨトハ言ハナイケレドモ、是ノ利益ヲ害スルノ手段ヲ構ズルト云フニ至ッテハ、私ガ一言ナキヲ得ヌノデアアッテ、諸君モ亦默スルコトガ實ハ出來マイト思フノデアアル、從來日本ノ外交ノ仕方ヲ見マスルニ、往々花ヲ爭ウテ實ヲ忘ル、ト云フ如キ趣ガアル、今度ノ條約ノ改訂ニ當リマシテハ、當局者其人ガ居ッテ、十分ニ慎重ナル注意ヲ用井ルノデアアラウト思ヒマスガ、日本外交ノ實蹟ヲ見マスレバ、前申シマスル如ク、花ヲ爭ウテ實ヲ失ヒ、名譽ヲ爭ウテ實利ヲ忘レテ居ルト云フ趣ガアルデアアルカラ、十分ニ私ハ注意ヲ促シテ、置キタイト思フ、例ヘバ條約改正ノ如キ、明治初年カラ三十年間ノ繼續事業トシテ、有ラユル在朝在野ノ政治家ノ力ヲ集メテ成就シタ仕事デアアルガ、ソレドウナツタカト云ヘバ、花ト云フベキ法權ハ回復シタケレドモ、實ト爲ルベキ稅權ニ至ッテハ、未ダ之ヲ十分ニ回復スルコトガ出來ナクテ、今日ヨリ尙ホ十年ノ間拘束セラレテ、然ル後ニ纔ニ意思ヲ通シ得ルヤ否ヤ分ラヌ位ノ問題デアアル、之ヲ以テ見レバ其一旦——デアハナイ、三十年續イタ、本當ノエラハ絃ニ在ルト私ハ斷言スルニ憚ラヌ、二十七、八年ノ役ニ於テ、大ナル日本ハ名譽ヲ得タ、其時ノ通商條約ノ改正モ、其餘約文ヲ見レバ、誠ニ結好ニ出來テ居ル、外國カラ見レバ殊ニ賞讃スベク出來テ居ル、御承知ノ通ニ支那内地ノ沿岸ノ港ヲ開イテ、交通ノ權利ヲ取ッテ、内地ニ於テ商業ヲ爲スノ權利ヲ取ッテデアアル——イヤ、商業ヲ營ム權利ヲ取ッテデアアル、是等ハ誠ニ商業ヲ發達セシムルニ於テ、結構ナコトデアアル、世界ノ人ガ寢メル位ナ好イ仕方デアアルガ、世界ノ寢メルニモセヨ、日本人ガ果シテ之ヲ以テ利益シタカト云ヒマスレバ、蘇州ニ往ッテモ、杭州ニ往ッテモ、沙市ニ往ッテモ、重慶ニ往ッテモ、日本人ノ此新開港場ニドレダケノ仕事ヲシテ居ルカト言ッテ見レバ、殆ド見ルモノハナイ、見ルニ足ルモノハナイ、居留地ヲ撰ムトキニハ隨分支那ノ官員ト爭フシタガ、其爭ッテ取ッテ居ル居留地ハ如何ニナツテ居ルカ、草ガ蓬ヤトシテ居ッテ、其中ニ纔ニ領事館ガ立ッテ居ルニ過ギナイ、内地ノ工業權ヲ取ッテ餘程結構ナコトニ思ハレル、彼ノ安イ人足ヲ以テ、直ニ需要者ニ供給スル製造ガ出來ルト云フコトヲ以テスレバ、誠ニ結構デアアルガ、日本人ガ果シテ支那ノ内地ニ於テ工業ヲ起シタカ、此工業權ヲ誰ノ利益ニ供セラレタカト云フト、歐羅巴人、支那人、亞米利加人ノ利益ニ供セラレタルノミデ、日本人ハ唯名ヲ得タニ過ギナイ、實利ハ殆ドナイ、纔ニ川ト川トノ間ノ航路ヲ、日本人ガ一線持ッテ居ルニ過ギナイノデアアル、今度又今マデヨリモ、モ少シ進歩シサウト思フ、今度ハ彼ヨリ得ル所ノ利益ハナイダケ位ハ忍ブトシテモ、我利益ヲ削イデ、彼ノ利益ヲ進ムルト云フ政策ヲ取ルト云フデアアルガ、是ハ餘程私ハ了解シ難イ、外交政策ト心

得テ居ル、是マデハ縦令虚榮ニモセヨ、名ヲ得ルダケ利益ハ得ヌト思ヒマス、名ヲ得ルダケノ價值ハアツタト思ヒマスルガ、今度ハ僅ニ榮ニナルカナラヌ位ナ問題チヤラウ有無相通シ彼我交換スルハ世界ノ通則デアアル、獨リ米ノ輸出ヲ禁シテ、ウレカラ之ヲ解イタト云フナラバ、日本ハ文明風ノ動作ヲシタト云フ位ナ褒メ言葉ヲ得ラレカ知ラヌガ、之ヲ解イタ結果ハドウカト云ヘバ、日本人ノ損失ハ免レナイ、今私ガ聊カ之ニ附イテ詳シイコトヲ取調ベタテ申シテ見ヤウト思ヒマス、先年二十八年ノ際ニ、彼ノ國ノ米ハ僅カ價ガ安カツタトハ思ヒマスルケレドモ、誠ニ確實トハ申サレマセヌカラ、茲ニ支那ニ向ッテ各地ノ相場ヲ聞キタイト思ウテ、種々照會ヲシマシタケレドモ、多ク得ルコトガ出来ズシテ、二三箇所得マシタケレドモ、不十分デゴザリマスルガ、唯一ツ確カナノハ、上海ノ各業行情ト云フ物價表ガアル、此物價表ニ據ッテ御話スル積デアアル、テ支那ハ大概白米ヲ以テ市場ニ出シマスル、ソレデ此表ノ中ニハ玄米ノ相場ガナクテ、皆白米ノ表デアリマスルガ、蘇州ノ白米ガ五元二角トアル、ソレカラ平望ノ白米ガ五元二角、同里ノ白米ガ五元二角三二トアル、大概是位ナモノデアアル、是ハ支那ノ十二月十九日附ノ相場表デアリマス、此相場ノ五元二角ト申シマスルノハ、墨西哥ノ五弗二十錢デアス、墨西哥ノ弗ハ日本ノ弗トサウ上海デ相場ハ違ヒマセヌ、四五錢違フコトハアルガ、マア同ジク見テ宜シイ、ソレカラ支那ノ石數ハ、日本デドノ位ニ當ルカト云ヘバ、四斗二升ニ當ル、白米四斗二升ガ五圓二十錢、石ニ直シタナラバ十二圓デセウ、概算デスケレドモ、ソレデ日本ノ此頃ノ東京ノ米ノ相場ハドウデアアルカ、白米ハ上米一圓ニ六升二合、或ハ三等米デ六升五合位ナモノデス、此上等米ノ一升ヲ割ッテ見マシタラバ十六錢ニナル、上等米ト比較ハ出来ヌトシテ、中等米ニシタ所ガ十五錢餘デアアル、十五錢餘デアレバ、一石ハ即チ十五圓デアアル、支那ノ白米ハ十二圓デアアル、一升ニ附イテ三錢ノ差ガ現在ニアル、南京米ト稱フル所ノ印度米ノヤウナ、臭イ脂ノ少イ味ノ惡イ所ノ米ハ、三錢違ッテモ五錢違ッテモ嗜好ニハ適シマセヌケレドモ、殆ド日本ト同シヤウナル味ヲ持ッテ居ル所ノ米ガ、一升ニ附イテ三錢モ違フコト云フナラバ、是ハ來ルニ相違ナイト思フノデス、倍テ此安イ米ガ參ルト云フコトニナリマシタナラバ、日本ノ米ハ從ッテ下ラナケレバナラヌ、直チニ三錢下ガルコトハアリマス、自然ノ理ハ互ニ填メ合ッテ平均ヲシマスルカラ、支那ノ米モ幾ラカ上ガッテ來ル、日本ノ米モ下ガルト云フヤウニナッテ來ル、假ニ一升ニ附イテ一錢ヲ引去ッテ見タ所デガ、尙ホ二錢ノ差ガアツテ、支那デ一錢上ガリ日本デ一錢下ガルト云フコトニナツタナラバ、是ハ大キナコトデアアル、一升一錢違ヘバ一石デ一圓違フ、日本ノ米ノ出來高ハ御承知ノ通ニ、三千九百万石カラ四千百或ハ二百万石デアアル、假ニ之ヲ四千百万石ト致シマスレバ、十圓ノ違ヒテ四億万圓デアアル、故ニ一圓ノ違ヒガ——石ニ一圓ノ相違ガアルトスレバ、直チニ四千万圓ト云フ所ノ損ガアルノデアアル、平均ヲ得ルガタメニ、一錢日本ノ米ガ下ガルトスレバ、此一錢ハ遂ニ四千万圓ヲ下ゲナケレバナラヌ、又ソレダケ農業家ノ損ニナルノデアアル、地租甚ダ高シト云フテヤカマシク云フト雖モ、尙ホ其金高ハ四千六百万圓デアアル、來年ヨリハ約束ニ從ッテ、地租ヲ減少シナケレバナラヌト云フテ、大層心配シマスルガ、此金高ハ千百万圓

ニ過ギナイ、僅カ米ノ相場ガ一升ニ附イテ三四錢ノ相違ニ過ギナイガ、今申シマスルヤウナ譯デ、一錢下ッテモ農業家ノ利益ハ大キナ違ヒデアアル、國ノ利益ハ大キナ違ヒデアアル、此大切ナル關係ヲ有ッテ居ルト思ヒマスルデ、斯ウ云フコトヲ何ノタメニシナケレバナラヌノデアアルカ、昔ハ饑饉ガアルカモ知レヌカラ、外國ニ賣ッテハナラヌト云フ心配モアツタケレドモ、今日ハ饑饉等ノ場合ニ餘儀ナク食フベキ所ノ米ハ、印度米ガ澤山ニアツテ、毎年輸入スル所ノ米モ甚ダ少クナイノデアアル、昨年ノ輸入表ヲ見マシテモ、印度米ノ輸入高ガ一千万圓以上デアアル、斯ウ云フ安イ米ガ幾ラモ來ル、來ルダケノ途ハ附イテ居ルノデアアルガ、幸ニシテ日本ノ米ト味ヒノ違フタメニ、日本ノ農業家ハ損害ハ少イケレドモ、今申ス通一錢違ヘバ直チニ四千万圓違フ、若シ二錢違ヘバ八千万圓違フ譯ニナルノデアアル、斯ウ云フコトヲシナイデモ宜イノニ、何ノタメニスルカト云フテ、私ハ疑フ、或ハ斯ウ云フコトヲ言フ、廉イ外國ノ米ヲ入レテ我日本ノ米ハ宜シイカラ、之ヲ外國ニ出セバ宜シイデハナカト云フ商賣人ハ殊ニ此說ヲ主張スル、日本ノ米ハ大變大切ナル物産デアアルガ、外國ニ向ヒテドレダケ出デ居ルカト云ヒマスルト、昨年ノ表ニ據ッテモ六百万圓ニ過ギナイ、年々大概此位ナモノデアアル、其金高カラ申シマスルト、隣寸ヲ輸出スル隣寸ノ代程モ出テ居ラヌノデアアル、隣寸ハ七百万圓カラ八百万圓毎年出シマスル、ソコデ外國ノ米ノマヅイノガ這入ッテ來テ、日本ノ米ハ高ク出テ往クト言ヒマスルケレドモ、サウ云フ理窟ハ決シテナイ、是ハ自然ニ安クナッテ出レバ出テ往クノ外ナイノデアアル、私ハ此理窟ハ採用スルニ足ラヌト思ヒマス、所デ併ナガラ一般ノ多數人民ノ食フ所ノ生命ヲ繫グ所ノ食物デアアルカラ、其食物ガ安クナレバ國ノ仕合せト云フ論者ハ、殊ニ商工者ノタメニ餘程利益デアアルト申シマスルケレドモ、之ヲ能ク私ガ考ヘテ見レバ、大シタ理窟ニナラヌト思フ、日本ノ農業家ノ數ハ極ク正確ナコトハ分リマセヌ、統計表ニモ十分デゴサイマセヌケレドモ、凡ソ十分ノ七、之ヲモウ少シ讓ッテ考ヘマシテモ、十分ノ六デアアル、十分ノ六ノ農業家ヲ苦メテ、十分ノ四ノ商工業其他官吏ノ人々ノ利益ニシナケレバナラヌカト云フ、サウ云フ理窟ハナカラウト思ヒマス、又果シテ農業家其他ノ不利益ヲスレバ、商工家ガ利益スルカト考ヘマシラト、私ハ利益セヌト思フ、何ゼナラバ、農業家ト云フモノガ不利益ナ地位ニ陥リマシタナラバ、自然購買力ガ減ッテ來ルノデアアル、不景氣ニ依ッテカラ商賣ガナクナルト云フ場合ハ、何時デモ地方ノ購買力ヲ減少シタトキデアアル、今年ノ如キモ隨分經濟界ニテハ待設ケテ居タ、一月ヨリハ餘程宜クナルデアラウト云ヒツ、アツタノガ、未ダ宜クナイト云フノハ何ノタメデアアルカト云ヘバ、地方ノ農業家ガ米ノ價ノ安イタメニ實惜ンデ居ル、實惜ンデ居ルカラ米ガ金ニナラヌカラ物ヲ買ハナイ、物ヲ買ハヌカラ尙ホ不景氣ヲ續ケテ居ル、其理窟ハ甚ダ明瞭ナモノデアアル、モウ少シ明ニ云ヘバ、期シテ居タノガ何モ賣レナイ、何モ賣レナイノハ、即チ農業家ガ買ハナイガ賣レナクナルノデ、十分ノ七ヲ占メテ居ル所ノ農業家ヲ苦メ、ソレデ商工業家ガ利益ヲシヤウト云フ算用ヲ立テルノハ、大ナル間違デアアル、又食物ヲ安クスレバ國民ガ幸スルト云フコトモ、是ハ歐羅巴デ唱ヘラハ食物ガ安イカラシテ、自然製造業ガ盛ニナツテ、其國ノ富ガ發達スルト云フ

ヤウナコトハナイノデス、御覽ナサイ朝鮮ハ日本ヨリハ食物ガ安クテ、生活ノ費用モ總テ安イデスガ、彼處ニ工業ガ盛ニ起テ居リマスカ、彼處ニ富ガ盛ニ起リマシタカ、支那モ其通、現ニ米ハ白米ニシテ三四錢方モ安イ米ヲ食ウテ、茲ニ工業ガ盛デアリマスカ、商業ガ盛デアリマスカ、又此國民ガ果シテ幸ヲ得テ居リマスカ、決シテ幸ヲ得テ居ラスデアリマスカ、却テ亞細亞ヨリモモット生活ノ費用ノ高イ歐羅巴ノ商業ガ發達シ、工業ガ發達シテ居ルデハナイカ、歐羅巴ヨリモモウ一層生活ノ費用ノ高イ所ノ亞米利加ガ、今日ハ世界ノ商工業ヲ蹂躪スベク發達シテ居ルデアリマスカ、此實例ニ據ッテ見マスレバ、米ヲ安クスレバツレニ依テ大ニ我國民ガ幸ヲスル、工業ガ安ク出來ル杯ト云フコトハ、素人考ニ過ギナクシテ、實際ニ於テハ見ルコトガ出來ナイ、國家ノ真正ト發達ヲ期シヤウト云フナラバ、自國ノ國民ノ利益ヲ十分ニ圖ツテ、其經濟機關ヲ十分設備シテヤツテ、彼等ヲシテ思フ儘ニ能ク働カシムルヤウニ仕向ケルノガ一番宜イ、然ルニ之ニ反シテ日本政府ノ今ノ遣リ方ガ、果シテ事實デアラナラバ、先ヅ日本國民ノ多數ノ利益ヲ殺イデ、ソレヲ支那ノ農民ノ利益ヲ多クシヤウ、支那ノ農民ノ利益ヲ多クシヤウト云フコトニ附イテハ、殆ド意外デアアルガ、日本ノ商人中ニハ之ヲ論ズル人ガアル、支那ヲシテ今一層購買力ヲ高メシムルニアラサレバ、日本ノ工業ノ發達ハ覺東ナイ、斯ウ申シテ居ル、サウスルト支那人ガ、支那ノ百姓ガ、今少シ割合ガ宜クナルト、物ヲ買フカガ出來ルト云ヒマスルカラ、解禁スレバ即チ支那ノ米ハ幾ラカ値ガ宜クナル、ソレハ誰ノタメニ宜クナルカト云ヘバ、日本ノ米ト平均スルタメニ値ガ宜クナルノデアアル、日本ノ農業家ノ利益ヲ殺イデ、支那人ノ腹ヲ肥シテ、彼等ニモウ少シ買得ルヤウニ豐ニシナケレバナラヌト云フ議論デアアル、是モ亦宜イカモ知レヌ、事情ニ依ッテハ——所ガ支那ト云フ國ヘ、ソレダケ日本ガ孝行ヲ致シマシテ、而シテ日本ノ品物ヲ日本ガ自由ニ支那ヘ賣ツテ、他ノ各國ハ賣ラナイカト云ヒマスルト、支那人ノ購買力ヲ増シマシタ時分ニ、支那人ハドウ云フゴトヲスルカ、誰カラ買フカト云フコトハ、實例ガ甚ダアツテ、今日デハ御承知ノ通りカラモ南カラモ東カラモ、支那ニハ、品物ヲ運ンデ、現ニ來年ノ春ニナレバ、西伯利ノ鐵道モ全通シマスカラ、陸カラモ歐羅巴ノ品物ガ皆押掛ケテ往クノデアアル、支那ノ百姓ノ購買力ヲ増シテ、日本ノ工業ヲ發達セシメヤウト云フ工業家ノ今日ノ考ハ、チヨット賢イヤウデアアルケレドモ、其實如何ニト云ヘバ、歐羅巴諸國ノ利益ヲ爲スニ過ギナイ、丁度私ハ北清事件ヲ日本一人ガ荷ウテ鎮定シナガラ、其償金ハ一割モ取り得ナイデ、八分シカ取り得ナカッタト大方同ジコトニナリハセマカト思フ(ヒヤク)「ト呼フ者アリ」世ノ中ニハ六日ノ葛蒲十日ノ菊ト云フ、後レタモノハ役ニ立タヌモノト云フコトニナツテ、居ルガ、戦等ガ過ギテ到著シタル獨逸ハ、日本ノ三倍モ其費用ヲ取り得テ居ル、支那ニ大騷動ヲ掛ケタ、其發頭人ト噂サレテ居ル所ノ露西亞ハ、日本ノ四倍モ其利益ヲセシメテ居ル、日本ノ百姓ノ汗水ヲ搾ツテ拵ヘタ所ノ產物ヲ安クシテ、支那ノ農業家ノ利益ヲ増シテ、ソレヲ購買力ヲ殖シテ、日本ノ工業家ノ幼穉ナル人達ノ働ガ、何分支那ニ於テ利益ヲ得ルカト云フナラバ、一割モ得ズシテ僅ニ八分デアツテ、英國トカ、或ハ獨逸トカ、亞米利加トカ云フヤウナ國ガ、隨

分三割五割十割モ儲ケルニ違ヒナイ、日本ノ工業家ハ何ノタメニ斯ウ云フコトヲ云フノデアアルカ、私ハ甚ダ奇怪ニ思フノデアアル、今其人キニ吾々ノ代表スル所ノ農業家ヲ保護セヨ助ケヨトハ、言ヒタクテモ言ハナイノデアアルガ、邪魔ヲスル、害ヲスルト云フニ至ツテハ、驚入ッタル言ハナケレバナルマイト思フ、強テ政府ノ力ヲ藉リテ、其農業ヲ進メヨトハ言ハナイケレドモ、品物ヲ安クシテ農業家ノ害ヲ爲スト云フニ至ツテハ、驚入ッタル次第ト私ハ思フ、免角世間ノ學者先生達ハ色々宜イ考ヲ以テ、世ノ中ニ翻メテ吳レマスルガ、是ニ附イテハ隨分議論モ追々出テ來ルデアラウ、政府モ研究スルデアラウト思フガ、一番學者ノ斯ウ云フ場合ニ起ツテ楯トスルモノハ、例ノ英吉利ノ非穀物條例ノ件ヲ用ヒル、英國ノ「マンチエスター」派ガ穀物條例ヲ廢シテ、ソレニ依ッテ英吉利ノ工業ガ非常ニ發達ノ度ヲ進メタルト云ハレル、成ル程當時ハサウ云フ成績ガアルガ、諸君、是モ時ト場合ヲ考ヘナケレバ、是等ノ理窟ヲ採用スルコトハ出來ナイ、是ハ今ヨリ五十二年程前デ、我國ノ嘉永年度ノコトデアリマスルガ、此時分ノ英吉利ノ人口ヲ見マスレバ、一千八百萬僅ニ、然シテ貿易ノ表ヲ見マスルト、二億九千何百萬磅ト云フノデスカラ、日本ニ翻譯スルト二十九萬何石ト云フモノニナル、ソコデ輸出ハドレダケアルカ、輸出ガ一億——十九億幾ラアル、サウシテ輸入ハ十億デス、日本ノハドウデス、イツモ此近年ハ輸入ガ多クテ輸出ガ少イコトヲノミ歎息シテ居ル、英吉利ノ穀物條例ヲ廢シタ時分ニハ、金高カラ言ツテモ僅ニ千八百萬ト云フ人口ヲ以テシテ、然シテ貿易ノ高ハ日本ニ直セバ三十億ノ高デ、外國カラ這入ルモノハ十億デ、外國ニ出シテ金ニスルモノハ二十億デアツタノデアアル、サウシテ農業家ノ數ハドレ位アツタカト云ヒマスルト、農業家ノ數ハ當時ノ人民ノ數ノ三分ノ一シカナイ、三分ノ二ハ工業家デアアル、日本ノハドウデアアルカト云ヘバ、農業家ガ三分ノ二ヲ占メテ居ツテ、工業商業其外ノ官員或ハ教員、其外ノ無職様ノ人ヲ集メタ所ガ、ソレガ他ノ一ツニ過ギナイノデアアル、事情ガ全ク異ナル、殆ド其工業家デアアル商業家デアアルガ如キ日本ガ狀況ニ立至ツテ、外國ノ貿易ハ十億圓ニモナツテ、其多分、半分以上ハ外國ヘ輸出スルマデノ盛況ニ至ツタトキハ、又格別デゴザイマスケレドモ、僅ニ今ノ有様ハドウデスカ、四千萬——四千四百萬ノ人口ヲ以テシテ、貿易ノ高ハタツタ五億萬ニ過ギナイ、ソレモ輸出ノ平均ガマダ得ラレヌ位ノ有様デ、此ノ如キノ有様ニ於テ、内尙ホ農民ノ收穫ヲ減少スルノ政略ヲ執ルト云フヤウナコトハ、以テノ外ノ次第ト云ハナケレバナラヌ、亞米利加ノ如キ、現ニ私ハ此處ニ領事ノ報告ヲ持ツテ居リマスルガ、此地ノ如キ米ニ對シテハ、隨分吾々ガ見テハ盛ナ稅ヲ課シテ居ルノ思フノデス、彼ノ國ハ小麥ヲ元來食フ國デアリマスケレドモ、此近來ハ日本カラ米ノ種ヲ輸入シテ、サウシテ作り方モ日本流ニナルノデアアル、サウ云フヤウナ狀況デアアルニ、隨分米モ支那人モ多ク這入リ、日本人モ多ク往ク、又其國民モ食フヤウナ次第デゴザイマスカラ、今日米ノ相場ヲ見マシテモ、隨分高イ、百斤ガ五弗、日本米ハ無論白米デス、五弗ト云ヒマスルト日本ノ十圓デス、是ハ其餘程ノ高イ米ニナリマスガ、所デソレヲ皆一々言フノハ無用デアアルガ、最後ニ此領事ノ報告ヲ見ルト、當國ニ於ケル白米ノ輸入稅率ハ白米一封二錢、玄米一錢二厘五毛、粗米七厘五毛、粉及小麥二厘五毛ニシテ、原產地相場ノ一倍若クハ其以上ニ相當スル重稅ナリ

トス是ハ此一封ト云フノハ百二十奴ノコトデスガ、百二十奴ハドノ位ノ併ニナリマスカ、ツレマデノ穿鑿ハ私ハシマセヌデシタガ、恐ラクハ三合カ四合ニ當リハシマセヌカ、ツレニ向ッテ二錢ノ稅ヲ掛ケル、亞米利加ノ二錢ハ日本ノ四錢ニナル、隨分重稅デ、大方其原産地ノ米ノ値ダケ位ヲ、亞米利加デハ稅ヲ掛ケテ居ル、英國ノ如キ穀物條例ヲ廢シタト言ヒマスケレドモ、其四十九年ニ廢シタトキモ、尙ホ一割ノ稅ハ殘シテアル、是マデヲ以前ノ稅ノ掛ケ方ハ、非常ニ高カッタカラ、名ケテ之ヲ廢シタト云フ、日本デハ米ヲ以テ主要ナル產物トシ、ツレニ掛ケル所ノ稅ニ依ッテ政治モ運轉シテ居ル、又經濟ト云フテモツレニ依ッテ動イテ居ルノデアル、外國ニ輸出スル處ノ商工業ガドレ程アリマスカ、ツレヲ除イテノ後ノ日本人ト云フモノハ、皆内地ノ農業家ニ供給スルモノヲ以テ商賣トシテ居ルガ、此狀況ヲモ顧ミズシテ、徒ラニ米ガ廉ケレバ人民ガ喜ブト云フ如ク考ヘ若クハ商工業家ガ幸スルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノカ知ラヌガ、事實ノ例ニ於テ世界ニ最早見ルベカラザルコトデアル、偶、英吉利ノ如キハ他ノ商工業ガ非常ニ發達シテ居ッテ、割合ヲ言ッテモ、農業家ハ三分ノ一シカ居ラヌト云フヤウナ狀況ニ依ッテ用フベキデ、今ノ日本ノ如キ有様ニ於テ、斯ノ如キ政策ヲ執ルト云フノハ大イナル間違デアラウト思ヒマスカラ、茲ニ私ハ此質問ヲシタ、モウ一ツ申シテ置キマスガ、支那人ガ幼穉ダト云フコトヲ皆言ヒマスケレドモ、商賣ニ掛ケタナラバ日本人ヨリハ幼穉デハナイノデス、年々一千万前後ノ外國米、即チ南京米ヲ輸入シマスルガ、ツレハ誰ガ輸入スルカ、獨逸人デアアルカ、英吉利人デアアルカ、日本人デアアルカ、調ベテ見ルト重ナル輸入商ハ支那人デアアル、其次ニ英吉利人、其次ニ獨逸人、日本デハ僅カ三井物産會社一人ノミデアアル、此有様デアアルカラシテ、支那ノ内地カラシテ、支那ノ内地ヲ開放シテ、アノ其イ米ヲ日本ニ入レルコトヲ許ストナリマシタラ、日本人ノ餘リ手ヲ藉ラナイデ、支那人ハ隨分勉強シテ、働クダラウト思ヒマスカラ、彼ノ輸入商等ガ之ニ依ッテ利益ヲ得ヤウト言フ點モ、或ハツレニ歸スルダラウト思フ位デアリマス、以上ノ意見デアリマスカラ、我政府ノ當局者農商務大臣、大藏大臣、外務大臣ハ、主トシテ其責任ヲ取ッテ明瞭ナル意見ヲ以テ答辯セラレンコトヲ希望シマス

○門脇重雄君(百二十九番) 議長

○議長(片岡健吉君) 門脇君ノ申出ハ御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 門脇君、何デスカ

○門脇重雄君(百二十九番) 是ヨリ豫算ノ第四分科會ヲ開キタイノデ、依ッテ許可ヲ得タイ

○議長(片岡健吉君) 門脇君ノ申出ハ御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス

○門脇重雄君(百二十九番) 第四分科會ノ委員諸君ハ、委員室ニ御集リヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 第二部長ノ安部并磐根君カラ申出ガアリマスカラ、諸君ニ御諮リシマスガ、此第二部ヨリ選出シタ所ノ決算委員ガ補缺ニナッテ居

リマスガ、度々部會ヲ開カレケレドモ、成立チマセヌカラ、此際部會ヲ開キタイト云フ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(一) 異議ナシ 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマスガ、第二部部屬ハ三十三番ヨリ六十八番マデノ諸君デアリマスカラ、ドウゾ決算委員ノ補缺ヲ選舉セラレンコトヲ希望致シマス、是ヨリ議事日程ノ第一ノ議ニ移リマス、北海道土功組合法案、政府提出貴族院送付、第一讀會 議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第一 北海道土功組合法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

北海道土功組合法

第一條 北海道ニ於テ區町村又ハ區町村組合ノ事業ト爲スコトヲ得サル特別ノ事情アル場合ニ限リ左ノ事業ヲ目的トシ一定ノ地區ヲ定メテ土功組合ヲ設置スルコトヲ得

一 農業上必要ナル道路、橋梁、用水、排水又ハ堤塘等ヲ施設維持スルコト

二 農業上ノ有害物ヲ除去シ又ハ豫防スルコト

第二條 組合ハ之ヲ法人トス

第三條 組合員ハ其ノ組合設置地區内ニ於テ組合事業ノ爲直接ニ利益ヲ享クル者及其ノ利益ヲ享クル土地ヲ所有又ハ占有スル者ニ限ル

北海道廳長官ハ必要ト認ムルトキハ組合加入ニ同意セサル者ニ對シ之カ加入ヲ命スルコトヲ得

第四條 組合員組合費ヲ完納セサルトキハ區町村長又ハ戶長ハ組合ノ請求ニ依リ區町村稅徵收ノ方法ニ準シテ之ヲ徵收ス

第五條 組合事業ヲ施行シタルカ爲土地ノ登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

第六條 組合ハ主務大臣北海道廳長官及北海道廳支廳長之ヲ監督ス

第七條 本法ニ定ムルモノノ外土功組合ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内務書記官白仁武君演壇ニ登ル)

○政府委員(白仁武君) 本案提出ノ理由ヲ簡短ニ申上ゲマス、北海道ノ拓殖上、道路排水其他拓殖地ニ土木ノ必要ナルコトハ、勿論ノコトデアリマス、ソレガタメニ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、十年計畫ト申ス如キコトデ諸君ノ御協賛ガアリマシテ、國庫ハ多額ノ金ヲ費シマシテ、土功ヲ起スコトニナリマシタ、然ルニ廣シ北海道ノコトデアリマスルシ、村ノ末々ニ至リマシテ考ヘマスレバ、ナカク、サウ細ナ所マデモ、國庫悉ク負擔ヲ致シマシテ、其土功ヲ遂グルト云フヤウナ譯ニハ參リマセヌ、又地方經濟ニ於キマシテモ、無論多少ノ土木ハ行ヒマスルケレドモ、是トテモ亦村ノ小サイモノニ至リマシテハ、盡ク其負擔ニ堪フルト云フ譯ニハ參リマセヌ、又町村費ニ於キマシテモ、無論多少ノ負擔ハ致シマシテ、其各、自分ノ村ニ關係致シマスル所ノ土木工事ニ附キマシテハ、無論多少ノ負擔ヲ致シマスル、併シ村内ニ於キマシテデス、村全般ノ利害得失ニ關係致シマセズニ、村ノ或ハ一部分、或ハ村ト村トノ或一部分ノ間ニ必要ナル土木工事ノ負擔ニ於キマシテハ、是レ

亦町村ノ盡ク堪フル所デアリマセヌノデス、ソレ故ニ右様ナ場合ニ於キマシテ、關係ノアリマスル所ノモノダケガ、任意ニ組合ヲ起シマシテ、其土功ヲ仕遂ゲルコトニ致シマスレバ、誠ニ拓殖上ノ助カリニナリマスル、目下北海道ニ於キマシテ右申上ダマス如キ組合ガ多少ゴザイマス、私法上ノ組合ハ然ルニ其組合ニシテ法律ノ制裁ヲ得マセナケレバ、拓殖銀行或ハ勸業銀行等ノ聯絡ニ於キマシテ、色、遺憾ナル事柄ガアリマスル、又其組合ノ事業ヲ仕遂ゲマスルニ方リマシテ、公法上ノ制裁ヲ用ヒナケレバ、是レ亦遺憾ナル所ガ多クアリマスル所ノデス、ソレ故ニ其私法上ノ組合ニシテ、今日マデ不便ヲ感シテ居リマスル所ヲ救助センガタメニ、此法律ヲ發布致スコトニシマシテ、足ラザル所ヲ法律ノ制裁ヲ以テ助ケルコトニ致シマシテナラバ、大キニ農民ノ好都合デアラウト云フ所カラシテ、此法案ヲ提出スルコトニ致シマシタノデアリマス、右様ノ理由デ……

○永井嘉六郎君(二百七十八番) 政府委員ニ少シ質問ヲ致シマス、此北海道土功組合法ヲ設ケマスル趣意ト云フモノハ、北海道ノ費用ヲ減少シヤウト云フノ目的ガ、一ツアルノデゴザイマス、其點ヲ一ツ伺ヒタイ、北海道廳ノ費用ヲ減シヤウト云フノ目的デ、其減シタ部分ヲ他ノ自治體ニ許シテ往クト云フノ目的デアリマスルカ、ソレカラ今一ツハ、此北海道ニハ一級町村制及二級町村制ト云フモノガ出來タ、然ルニハ一級町村制、二級町村制、即チ自治體トサウシテ未ダ自治體ニアラザル所ノ町村ト、組合ヲ設ケルコトモ出來マスルカ、又自治體ト自治體ナラザル所ノ町村ト組合ヲ設ケルコトモ、ドウ云フ關係ニナリマスカ、此事ヲ御問ヒ申シマス

〔政府委員内務書記官白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白仁武君) 御答致シマスルガ、北海道廳ノ經費ヲ取テ節約ヲ致スト云フノデアリマセヌノデス、唯國庫デ負擔ヲ致シマスルコトガ、今日マデ其手が届イテ居ナイ所ノ分ヲ、直接關係アル所ノモノニ、任意ニヤラセウト云フダケノコトデアリマス、又第二ノ御尋ノ一級町村或ハ二級町村ノ如キ、純然タル自治體ト未ダ自治體ニナラザル所ノモノト、組合ヲ爲スコトガアル、其場合ニハ如何ナル法律上ノ取扱ヲ爲スカト云フ御尋デアリマス此組合ハ町村ノ組合ヲ意味シテ居ルノデアリマセヌノデ、町村ノ組合ハ是ハ御承知ノ通ニ、一級町村制或ハ二級町村制、唯今發布ニナツテ居リマス所ノ法律ノ上ニ、町村ノ組合ノコトハ詳シク載ツテ居リマス、此組合ハマルデ町村外ノ一箇々ノ者ガ、組合ヲナス所ノモノデアリマス

○木村實太郎君(五十二番) 質問ガアリマス、此第三條ノ二項即チ貴族院修正ノ第四條ニ附イテ、御尋ネヨスルノデゴザイマス、此第三條ノ二項デ、北海道廳長官ハ必要ト認メルトキハ、組合加入ニ不同意ナ者デモ、之ニ加入ヲ命ズルト云フ箇條ガゴザイマス、是ハ如何ナル場合デゴザイマセウカ、貴族院修正ノ第四條ニ掲ゲテアリマス、既ニ其地域内ニ於テ組合員タル者ハ、三分ノ二以上同意シタ、其以上デ既ニ組織ガ出來タ後ニ、之ヲ適用スルモノデアルカ、又ハ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ、總會ヲ開クコトノ出來ナイ以前ニ於テ、即チ此組合ヲ設ケルコトガ、三分ノ二以上ノ不同意者ノ方ガ多イ場合ニ於テハ、北海道廳長官ハ無理ニ之ヲ命ジテ、此組合ニ入會セシムルト云フ、壓制ナコトヲモスルノデアリマス、其適用スル場合ヲ承リタイ

〔政府委員内務書記官白仁武君演壇ニ登ル〕
○政府委員(白仁武君) 是ハ組合ニ加入ヲ命ズルト云フノデアリマスノデ、組合ガ一旦成立致シマシタ上デ、其組合ガ加入セザルモノヲ其儘致シマスレバ、組合事業上種々ノ差支ヲ起ス場合ニ於キマシテ、成立タル所ノ組合ニ、多少ノ人ヲ加入セシメル權利ヲ、長官ニ與ヘル積デアリマス
○議長(片岡健吉君) 外ニ御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第二ニ移リマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(二百二十四番) 議長ノ指名ヲ願ヒマス
○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス
○恆松隆慶君(二百二十四番) 第三カラ第五マデハ關聯シテ居リマスデ、一括シテ議題トシテ、提出者ノ中カラシテ、ドウカ理由ヲ併セテ述ベテ貫ヒタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ動議ニ賛成ガアリマスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ第三ヨリ第五マデヲ一括シテ、議題トスルト云フ動議ガ出シタガ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、大津淳一郎君

第三 官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案(大津淳一郎君外八名提出) 第一讀會
第一條 官國幣社ノ經費及營繕費ハ國庫ニ於テ之ヲ支辨ス
第二條 前條ノ費額ハ從前保存費ヲ受クル神社ニ在リテハ其ノ金額ヲ以テ之ニ充ツ
第三條 從前保存費ヲ受ケサル神社及將來官國幣社ニ列セラルヘキ神社ニ對スル金額ハ主務大臣之ヲ定ム
第四條 國庫ヨリ支辨スル官國幣社ノ經費及營繕費ハ其ノ神社ニ對シ拂切トス
第五條 神社ニ於テ蓄積セル金額ハ其ノ神社ノ營繕費ニ充ツルモノトス
第六條 官國幣社ニ於ケル收入ハ直ニ國庫ヨリ支辨スル經費及營繕費ニ併セ使用スルモノトス
第七條 官國幣社ノ收支ニ關スル計算ハ會計検査院ニ於テ検査ヲ行フノ限ニ在ラス

附則

第八條 本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第九條 本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十條 明治二十年三月内務省訓令第十五號同二十三年二月同第四十一號ハ之ヲ廢止ス

第四 府縣鄉村社費ニ關スル法律案(小田貫一君 第一讀會 外八名提出)

第一條 府縣ハ其ノ管内ノ府縣社、郡又ハ市ハ其ノ管内ノ郷社、市又ハ町村ハ其ノ管内ノ村社ノ神饌幣帛料ヲ支辨スル義務ヲ負フ
第二條 本法施行ニ關スル必要ナル規定及北海道、沖繩縣其ノ他府縣制ヲ施行セザル地方ノ神社ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五 市制町村制中改正法律案(小田貫一君外八名 第一讀會 提出)

市制町村制中左ノ通改正ス
市制第二百二十九條中「社」ヲ削リ「寺」ノ下ニ「院」ヲ加フ
町村制第二百三十四條中「社」ヲ削リ「寺」ノ下ニ「院」ヲ加フ

附則 本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大津淳一郎君演壇ニ登ル)

○大津淳一郎君(百十番) 例トシテ、三案提出ノ理由ヲチヨット申述ベテ置キマス、日程第三ノ官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案、是ハ現在モ國庫支辨ニハナツテ居ルノデ、即チ豫算ノ内務省所管ノ第二款ニ、神社費ト云フノガアリマスノガ是デアリマス、併ナガラ現在ノ國庫支辨ニナツテ居リマスルノハ、甚ダ其根據ガハツキリ致シテ居ラス、故ニ今日ノ際ニ法律ヲ設ケテ、明ニ規定ヲシテ後來ニ貽シテ置キタイト云フ法デアル、現在ハドウナツテ居ルカト云ヘバ、毎年ノ豫算ニ掲ゲテアリマスガ、是ガ去ル二十年ニ内務省ノ訓令ヲ以テ、十九箇年間國庫ヨリ斯様ナル金ヲ支出スルヤウニナリマシタ、ソレヲ二十三年ニ至ツテ同シク内務省ノ訓令ヲ以テ、爾後三十箇年ヲ限ツテ國庫ガ支出スルト云フコトニナツテ居リマス、サウシマスルト二十箇年過ギテシマヒマスレバ、國庫ハ一切官國幣社ノ經費ニ關係セヌト云フヤウナコトニナツテ來ル、是ガ内務省ノ抑、訓令ニ依ツテ斯ウ云フ事柄ニナツテ居リマスルガ、一月ノ二十五日デゴザイマシタカニ、私ハ質問書ヲ出シテ置キマシタガ如ク、明ニ之ヲ調ベテ參リマスレバ、會計法ト殆ド抵觸シテ居ルト思ヒマス、何レ質問書ニ對シテハ、何カ理由ヲ附ケテ、會計法ニハ抵觸セヌト云フヤウナ答辯ハ、定メテ見タラウト思ヒマスガ、如何ニ考ヘテモ訓令ヲ以テ特別資金ヲ以テ、向フ三十箇年間ニシテ、之ヲ打切ルト云フコトハ、誠ニ不道理ナ話ダト思ヒマスルシ、又官國幣社ノ費用ヲ國庫ノ支出ト云フコトハ、官國幣社トシテ國ガ祭リヲ爲スト云フ上ニ於テ、三十箇年ヲ打切り、以後ハ相構ハヌト云フコトハ、不道理ナコト、思ヒマス、ソレ故ニ此法律案ヲ設ケテ、爾後ハ永ク此法律案ニ依ツテ、經費ノ支辨ヲシテ往キタイト云フノ案デゴザイマス、ソレカラ日程ノ第四ニアリマス、府縣鄉村社費ニ關スル法律案、是ハ當議場デ屢々諸君ノ御贊成ヲ蒙ツテ、現ニ建議致レマシテ、諸君ノ御贊成ヲ得タ建議ガ實行サレマシテ、先年社寺局ト云フモノヲ分ケテ、神社局ト云フモノヲ置カレマシテ、漸ク宗教ト神社ト混同スベカラズト云フコトハ、一端ハ、先ヅ開ケマシタ、申スマデモナク、日本ノ神社崇敬ト云フコトハ、宗教トハ殆ド違ッテ居リマスルカラ、神社崇敬ト云フコトハ、一種ノ日本ノ國體國風ナンデ、是ハ申スマデモゴザイマセマシタガ、ソレ故ニ吾々共ガ社寺局ト云フヤウニシテ、神社

ト寺院ト混同シテ、總テノコトヲ致シテ居ルト云フコトハ、日本ノ國體ニ副ハヌト云フノデ、先ヅ根源ヲ正シタイト云フノデ、諸君ノ御贊成ヲ得テ建議ヲ致シ、其建議モ既ニ實行ハ見マシタ、斯様ナ場合ニ神社ト宗教ト云フモノトヲ引離シテ往キマスレバ、神社ニ對スル諸法律ノ規定ト云フモノハ、ドウシテモ明ニシテ置カケレバナラヌト思フ、故ニ官國幣社ト云フモノニ對シテハ、國庫支辨ト云フコトハ既ニ極ツテ居ルノデゴザイマス、官國幣社以外ノ縣社、郷社、村社、總テノ神社ハナイデス、縣社、郷社、村社、此三ツニ限ツテ居ルデス、法ノ上デ縣社、郷社、村社トシテ名稱ヲ付シタ、此三ツノモノニ限ツテハ、何等カノ法ヲ立テナケレバナラヌ、翻ツテ從來ノ慣習ニ據ツテ取調ベテ見マスレバ、先ヅ村社デアリマシタナラバ、一村ノ村鎮守ト稱ヘテ居タモノニ對シテハ、村ノ經費、村ノ勘定ト云フノデ、一年ノ末ニ村社ノ普請其他ノモノハ、村デ負擔シタニ相違ナイ、併ナガラ是ハ何レ藩制ノ時代、明治以前ノコトデアリマスカラ、別ニ法律ト云フガ如キ規定ハナイノデアアル、法ニ於テ規定ヲシタモノハゴザイマセマシタケレドモ、事實ノ上ニ於テ見マスルト、村鎮守ト稱スルモノハ、村デ負擔ヲシタノデアアル、然ルニ之ガ町村制實施ノトキ、新町村ノ組織ト云フ場合ニ至ツテ、數箇村ヲ併セテ一村ト爲シタモノデアリマスカラ、村鎮守ト云フモノガ、一村ニ二ツモ三ツモ出來テ來タノデアリマシテ、村費ヲ以テ支出スルト云フ舊慣ガ、茲ニ始テ破レタト思ヒマス、併ナガラ町村制ハ舊慣ヲ重シテ、組織スルト云フ上カラ見マスレバ、ドウシテモ此村ノ規定ニ何トカ、村社ノ經費ノコトニ附イテハ、規定ガ載ラナケレバナラヌ答デアツタノデアリマスガ、當時鎌倉以後ハ、寺ト神社ト云フモノヲ混同シテ、神官僧侶社寺ト云フヤウナモノハ、總テ社寺奉行ト云フヤウニ、誠ニ混同ヲシテシマツテ居リマスルガ故ニ、寺ノ御附合ヲシテ神社ト云フモノモ、町村制ノ規定ノ上カラ除カレマシタト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ追々諸法律ヲ立テ、總テノ行政ヲ整理シテ往カウト云フ上カラ見マスレバ、是非今日ノ儘ニ縣社以下ヲ打棄テ置クト云フコトハ、官國幣社ニ對シテズツ順序逐ツテ往ツテ、甚ダ不道理ナ話ト思ヒマス、舊慣ニ據ツテ見マスレバ、府縣鄉村社ノ經費モ、總テ町村制ノ費用デ負擔シテ宜イト私ハ考ヘマスルガ、併ナガラ今日政費多端ノトキニ當ツテ、町村ノ經費モナカナカ増加ヲシタ今日ニ、總テ町村ハ村費、縣社ハ縣費デ持テト云フコトハ、少シク今日費用多端ナ所デハ、誠ニ氣ノ毒ナ場合ダト思ヒマス、故ニ名義バカリヲ貽シテ置キタイト思ヒマシテ、斯様ノ通ニ神饌幣帛料ヲ、町村費若クハ縣費ヨリ支出スルトノ義務ヲ負フト云フダケノコトニシテ、聊カ此名義ヲ明ニ致シテ置キタイト思フノデゴザイマス、ソレカラ日程ノ第五ニアリマス、市制町村制中改正法律案、是ハ理由ニチヨット書イテアリマスル通、前ノ府縣鄉村社費ニ關スル法律案ト云フモノヲ可決ニナツテ、縣費町村費カラ神饌幣帛料ヲ、聊タリトモ支出スル場合ニナリマスレバ、町村制ノ中「社」ト云フ字ヲ削ツテ置キマセヌト、都合ガ惡ルイノデアリマス、社寺ト書イテアリマスルノ「社」ノ字ヲ削ツテ「寺」ト云フ字ヲ具合ガ惡ルイカラ、寺院ト稱ヘテ坊主ノ方ハ取除ケモノニシテ「社」ト云フ字ヲ是ヨリ削ルト云フノデアリマス、是ダケノ理由デアリマスカラ、ドウカ御贊成アランコトヲ望ミマス

○望月長夫君(二百四十二番) 議長

○議長(片岡健吉君) 望月長夫君

○望月長夫君(二百四十二番) チョット質問致シタイ、是ハ始テノ案デハナイ、ヤウデアリマスガ、分ラヌ點ガアリマス、其分ラヌ點ヲ御尋ヲシタイノハ、官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案、此法律案ノ第一條ニ依テ見マスルト「官國幣社」ノ經費及營繕費ハ國庫ニ於テ是ヲ支辨ス、立派ニ書イテアルケレドモ、其次ノ箇條ニ於テハ悉ク之ヲ打壞シテ居ル、私ノ之ヲ解釋スル所デハ、修繕保存費ヲ受ケテ居ル者ハ、保存費ヲ保存費ト云ハナイデ舊ノ儘デアアル、言葉ヲ換ヘテ短カク言ヘバ、此法案ノ内容ハ唯修繕保存費ヲ受ケナカッタモノニ、保存費ヲ遺ルト云フダケノ外ニ、何等ノ趣意モナイヤウニ思ハル、ガ、提出者ハ何等カノ内容ヲ、此外ニ含マシテ居ルト云フ御考デアアルカ、其次ハ第二案ト第三案トノ關係、第二案ヲ讀ンデ見ルト、唯提出者ノ説明ニ據ルト、神饌幣帛料ノミガ府縣町村ノ負擔デアアル、所デ其次ノ案ヲ讀ンデ見ルト、市制ノ第二百二十九條、町村制ノ百二十四條ノ「社」ト云フ字ノ全部ヲ削ルト云フ、町村制ノ百三十四條、市制ノ百二十九條ハ、御承知ノ通り、全部ヲ削ルト云フ、社寺ニ適用シナイト書イテアル、即チ營造物トシテ町村ガ、其營造物ノ負擔ヲシナケレバナラヌト云フ所カラ、取除ケテアル、町村市ノ負擔ニシテ居ナイ、若シモ是ガ唯神饌幣帛料ダケヲ府縣ニ負擔セシメルト云フダケデアアルテ見レバ、町村制市制ノ中ノ、今ノ箇條ヲ削除シタナラバ、其結果町村全體ニ涉ルモノニナツテ見レバ、建築費モ何モ彼モ市町村ノ負擔ニナツテ來ナケレバナラナイ、町村制全體ガ削ラレルカラ、一方ニ於テハ神饌幣帛料ト云フ、虛名ノ如キモノニナツテ居ルノニ、一方デハ一般ニ適用スルコトニナラウト思フガ、提出者ハサウハナラヌト云フ御考デアスカ

○大津淳一郎君(百十番) 御質問ノ趣意ハ分リマシタ、第一ノ御問ハ訓令ヲ以テ三十箇年保存費ヲ給スルト云フコトニ今ナツテ居ル、現在ト三十箇年保存費ヲ與レト云フ訓令ヲ消シテシマツテ、永久ニ行フモノトスルト云フ趣旨デ、三十箇年ト云フ年限ノ中ニ、今日マデニ過シタ年限ガ何箇年カアリマセウ、其訓令ノ中ニ確カ經費ノ一分五厘トアリマシタ、其金ガ各神社ニアル、ツレハ神社ニ渡シタカラ、取戻サヌト云フコトヲ載セタダケデ、全部ハ訓令ヲ取消シテ、此法律デ經費ヲ保存ト云ハズニ支辨シテ往ク、一條ノ規定ノ通ニスルト云フノデ、法律者ガ見テ此文章ガ惡ルイト思ハレタナラ、宜シク修正アラント云フ希望スル所デアアル、ツレカ第二段ノ御尋ニ「社」ノ字ヲ削レバ、全體ニ適用スルヤウニナルト云フノハ、御尤ノ次第デアアルガ、「社」ノ字ヲ削ツテ置イテ、町村制ノ方ニ「一方ノ鄉村社ニ關スル法律案ト云フ方デ、神饌幣帛料ノ外ハ出サセナイト云フコトヲ規定シテアリマスカラ、町村制ノ方デハ出シ得ル規定ニナツテアツテモ宜シイ、若シモ法律家ガ見テ不完全デアルト思ハレタナラバ、謹ンデ御修正アラムコトヲ希望致シマス

○恒松隆慶君(二百二十四番) 是ハ三案ヲ同一ノ議長指名ノ委員ニ付託ニナラント云フ希望シマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 恒松君ノ動議、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フニ、御異議ハアリマセヌカ

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、次ハ日程ノ第六倉庫營業ニ關スル法律案、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、山本幸彦君

第六 倉庫營業ニ關スル法律案(元田肇君外一名提出) 第一讀會

○議長片岡健吉君 御異議ガナケレバ其通決シマス、次ハ日程ノ第六倉庫營業ニ關スル法律案、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、山本幸彦君

第一條 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ商法第三百五十八條ニ規定スル預證券ノミヲ交付スルコトヲ得

第二條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ商法第三百六十八條ノ規定ニ從ヒ第一ノ質入裏書人ニ對シ拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第三條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖第一質權者カ預證券ニ記載シタル寄託物返還ノ場合ニ於ケル供託金ノ割合、若其ノ記載ナキトキハ倉庫營業者カ相當ト認ムル割合ノ債權額及之ニ對スル辨濟期迄ノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得但シ第一質權者カ反對ノ意思ヲ表示セルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一質權者カ供託金ノ割合ヲ定メ又ハ一部ノ返還ヲ禁スル意思ヲ表示スルニハ之ヲ預證券及質入證券ニ記載スルコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ從ヒテ供託シタル金額ハ之ヲ質入證券所持人ニ支拂ヒ且支拂ノ旨ヲ質入證券ニ記載スヘシ

(山本幸彦君演壇ニ登ル)

○山本幸彦君(二百二十一番) 法案ノ提出ノ理由ヲ概略申述ベマスル、此法律案ハ商法ト密著ノ關係ヲ有ツテ居ル法律ナラデアリマス、デ之ヲ説明致シマスルニハ、商法ニ斯ウ云フコトヲ規定シテアルト云フコトヲ、一言申上ゲナケレバ、此法案ノ理由ハ立チマセヌデアリマス、故ニ商法ト相俟ツテ説明ヲ致シマスル、此法案ハ僅カ第三條ヨリ成立ツテ居リマスガ、第一條ニ於キマシテハ、商法第三百五十八條ト關係ガアリマス、商法ノ三百五十八條ニ於キマシテハ、商品ヲ倉庫ニ入レルモノ、即チ寄託者ガデス、請求ニ依リマシテハ、倉庫ノ營業者ハ預證券トサウシテ質入證券ヲ交付スルコトヲ要スト云フ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、要スルニ荷主ガ倉庫ニ商品ヲ預ケタ場合ニハ、預リノ手形ト、サウシテ質入ノ手形ト、一ツヲ渡サナケレバナラヌト、規定サレテ居ルノデアリマス、所デ今日行ハレテ居ル實況ニ就イテ見マスレバ、質入ニ要スル所ノ證券ヲ請求スル必要ノナイト云フ場合ガ、往々ニシテアルノデアリマス、若シモ極ク短期ノ倉入ニシテ、或ハ一週間ニ週間ノ間ニ、其品物ヲ出スト云フ場合、若クハ其品物ヲ倉入ニ入レテ、倉入レタ品物ヲ目的ニシテ、金ヲ借リナケレバナラヌト云フ必要ノナイ商人ニ在ツテハ、質入證券ヲ受取ル必要ガナイデアリマス、又左様ナ商人ニ向ツテ、敢テ質入證券ヲ渡サナケレバナラヌト云フ必要モナイデアリマス、固ヨリ一人二人ノ間ニ取ツテ見マスレバ、渡サンケレバナラヌト云フ規定ナレバ渡シ、或ハ二枚請取ツテモ宜シイヤウナ譯デゴザイマスルガ、總テノ倉庫若クハ荷物ヲ倉入預ケル商人ノ、日々夜々ニ行ハレテ居ル所ニ、右言フヤウナ質入證券ヲ必要ト見ナイモノガ往々ニシテアルノデアリマス、斯様ナ場合ニ向ツテハ質入證券ヲ交

付スルコトヲセズシテ、預證券ノミヲ交付スルコト云フ便宜法ヲ設ケルト云フコトハ、煩ヲ省キ費用ヲ省イテ、且ツ商業ノ敏活ヲ圖ル上ニハ便宜ノコトノミナラズ、必要ノコト、信ズルノデアリマス、故ニ茲ニ斯ウ云フ除外例タルベキ規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ第二條ノ規定ハ、商法ニ於キマシテ三百六十八條ニ規定シテアリマス、ソレニ、彼ノ今申上ダタ質入證券ヲ以テ金ヲ借り居ル人ガアリマス、辨濟期ニ至リマシタ場合ニ、債權者ガ辨濟ヲ受ケナイ、其時ニ向ッテハ、拒絶證書ヲ作ラシムルト云フ規定ガアリマス、商法ニ於キマシテ然ルニ商法ニ於キマシテハ、辨濟期ニ方リ仕拂ヲ受ケザルトキハ、拒絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ストノミアツテ、誰ニ向ッテ作ラシムルト云フコトハ、之ニ附キマシテハ、商法ノ三百六十八條ヲ解釋スル者ハ、或ハ此拒絶證書ハ第一始ニ質權ヲ設定シタ者ニ向ッテ、作ラシムルト云フコトニ解釋シテ居ル者デゴザイマス、或ハ又預證券ハ初ノ一條ノ所デ申シマシタ、預證券ヲ持ッテ居リマス者即チ荷主デアアル、其者ニ向ッテ作ラシメルガ相當デアアル、即チ其者ニ要求スルノデアアルト解釋シテ居ル者モアル、詰ル所ガ此解釋ニ附イテハ、見解ヲ異ニシテ居ルト云フ今日ハ事實ニナツテ居ルノデアリマス、固ヨリ學者法律家ノ間デハ如何ナル解釋ヲ附ケテ居ルカハ、私ハ存ジマセヌガ、實業家即チ之ニ關係シテ居ル倉庫業者、若クハ金ヲ貸シテ居ル所ノ銀行、サウシテ許多ノ荷主側ノ間ニ於テハ、甚ダ解釋ニ疑點ヲ懷イテ居ルノデアリマス、ソレガタメニ事實ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見ルト、銀行家ガ金ヲ貸シマスルニ、商法ニ規定シテアル如クニ、質入證券ノミヲ以テ金ヲ借スコトハ、甚ダ不安ニ感シテ居ルノデアリマス、元來商法ノ精神ヲ能ク見テ見マスレバ、荷主ガ倉庫ニ商品ヲ預ケタ場合ニハ、初メ申シマシタ通、預證券ト云フモノト、質入證券ト一枚ヲ交付スルモノデ、二枚ノ證券ナルモノハ、倉庫ニ在ル所ノ商品ヲ賣買スル場合ニハ、此預證券ヲ以テ賣買ノ出來得ラレル規定ニナツテ居ル、ソレカラ金ヲ融通スルタメニハ、彼ノ質入證券ヲ以テ、ソレヲ以テ金ヲ融通スルト云フ規定ニ相成ッテ居ルノデアアル、ソレデ荷主ガ二枚ノ證券ヲ受取ッテ、サウシテ金ヲ融通シテ、即チ質入證券ヲ以テ銀行ニ預ケテ、金ヲ借りル、又側デハ預證券ヲ以テ、荷物ヲ或者ニ賣付ケルコトガ出來ル、サウスルト買入レタ者ハ、其者ヲ他ノ者ニ預證券ヲ以テ賣ルコトガ出來ル、即チ轉讓買買シテ何處マデモ往カレルコトニナツテ居ル、又質入證券モソレト同一デアツテ、債權者ガ又乙ノ者ニ、ソレヲ讓渡シスルコトガ出來ルヤウナ規定ニナツテ居ル、其規定ハ皆兩方共ニ裏書ニ依ッテ轉讓買買シテ、甲カラ乙、乙カラ丙ニ渡ルコトニナツテ居ル、然ル處デ債權者ガ期限ニ至ッテ仕拂ヲ受ケザル場合ハ、誰ニ向ッテ拒絶證書ヲ作ラシデ宜イカト云フコトガ、先刻申ス疑點ニナツテ居ル、茲ニ於テ本員等ノ見ル所デハ、第一ニ金ヲ借りタモノ、即チ第一ニ質權ヲ設定シタ者ガ、第一番ニ其義務ヲ負ハナケレバナラヌコト、信シテ居ル、即チ丁度手形デ云ヘバ、手形ヲ振出シタ者ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌ如ク、第一ニ質ニ入レタモノガ、拒絶證書ヲ作成シナケレバナラヌ義務ヲ持ッテ居ルモノト、信シテ居リマス、ソレガタメニ第二條ニ於テ、商法ノ三百六十八條ニ先ツ解釋ヲ加ヘタト云フ積デ、即チ商人等ノ感ヲ解イテ、圓滑ニ商法ノ規定ノ行ハル、タメニ、茲ニ仕拂ヲ受ケタル場合ニハ、第一ニ裏書ヲシテ質ニ入レタ者ニ對シテ、

拒絶證書ヲ作ラシムルト云フノ規定ヲシタノデアアル、第三條ニハ是ハ商法ニ規定シテナイノデアリマスガ、是ハドウ云フコトデアアルカト云ヘバ、倉ニ商人ガ荷物ヲ預ケタ、サウシテ其一部分ヲ處分スル、一部分ヲ出スト云フコトハ、商法ノ規定ニ依ッテ出來得ラル、ガ、若シモ倉ニ荷物ヲ預ケタ後ニ、其人ガ其荷物ヲ賣ル目的ニシテ、唯今申シタ通金ヲ借りテ質權ヲ設定シタ後ニ於テハ、一部ノ品物ヲ引出スト云フ規定ガナイノデアリマス、全部ノ品物ヲ引出スノ規定ハアリマス、例ヘバ米ヲ百俵倉庫ニ寄托シタ、サウシテソレヲ目的ニシテ千圓金ヲ借りタト假ニ定メセウ、其場合ニ其千圓トソレニ對スル利息ヲ計算シテ、倉庫業者ニ供托シタナラバ、其百俵ノ米ヲ引出シ得ラル、規定ハ、商法ニアリマスルガ、若シ荷主ガ其百俵ノ中デ五十俵ノ米ヲ處分シタ、三十俵ノ米ヲ處分シタト云フ場合ニ於ケル規定ハ、商法ニナイノデアリマス、是ハ甚ダ商品ヲ倉庫ニ出入ラスルモノニ取ッテハ、甚ダ不便極マルコトニナツテ居ルノデアアル、是ハ恐ラクバ商法ノ不備デアアルマイカト思フ、ソレヲ補フタメニ、質權ヲ設定シタ後ニ、一部ノ荷物ヲ引出ス場合ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、是ダケガ本案ノ理由ノ概略デアリマス、此法案ガ商法ト密著ノ關係ヲ有ッテ居リマス、故ニ御議論モ多クアラウト考ヘマスカラ、願ハクバ特制委員會ニ上ホサレテ、十分ニ御審査ヲ戴キタイ希望デアリマス

(政府委員東京帝國大學法科大學教授法學博士梅謙次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(梅謙次郎君) 此法案ニ定メテアリマスル事柄ノ中ニハ、理由ノアルコトモ隨分アラウト思ヒマスノデ、政府ニ於テモ篤ト調査ヲ遂ゲテ、此案ニ規定シテアルヤウナ改正ヲ施ス必要ガ、或ハアルデアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ此倉庫營業ニ關スル事柄ハ、隨分複雑ナル事柄デアリマスルカラ、斯ノ如キ三箇條ノ規定ヲ以テ、果シテ之ヲ實際ニ運用シテ往クコトガ出來ルカト申スニ、餘程疑ナキ能ハザル事柄ト思フノデアリマス、例ヘバ第一條ノ事柄デモ、一枚ノ證券ヲ出スト云フコトデアラナラバ、其場合ニ於テハ二枚ノ證券ヲ出シタトキトハ、餘程趣ヲ異ニシマスルニ依ッテ、商法ノ規定ガ現存ノ儘デ居ッテハ動カナイモノガ大分アルノデアリマス、又第二條ノ事柄デアリマシテモ、單ニ是ダケノ規定デアリマスルト云フト、第一ノ質入裏書人ト預證券ノ所持人トノ關係ガ、判然致シマセヌカラ、荷モ規定ヲ設ケル以上ハ、是等ノコトヲモ規定シナケレバ、實際矢張又後トデ問題ノ起ルヤウナコトニナルデアラウト思フ、又第三條ニ致シマシテモ、此倉庫業者ガ相當ト認ムル割合ト申スコトハ、倉庫業者ガ絕對ノ權力ヲ以テ定ムルノデアアルカ、若シ不足シタナラバドウナルノデアアルカ、又倉庫業者ガ過分ノ額ヲ請求シテモ、之ニ屈從シナケレバナラヌカドウカト云フコトハ、大ニ攷究スベキコトデアラウト考ヘマス、要スルニ是ハ隨分調査ヲ要スルコトデアリマスルカ、ラ、唯今切迫致シマレタル會期ニ於テ、之ヲ協議シテ定ムルト云フコトハ、餘程困難デアラウト考ヘマス、政府ニ於テ篤ト調査ヲ遂ゲマシテ、多分次ノ會期ニハ、政府ヨリ進デ改正案ヲ提出致シマスルデアリマセウカラ、此案ハ願クハ茲ニ決議ニナラナイコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 是ハ政府ハ否決ノ語氣デゴザイマスガ、折角出サレタ案デゴザイマス、ソレデ質問モナイ様子デゴザイマスカラ、ドウカ

委員ニ付託シテ、十分調査ニナラシメテ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託説ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルコトニ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第七登錄稅法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、鹽田忠左衛門君

第七 登錄稅法中改正法律案(鹽田忠左衛門君提出) 第一讀會
第三條第一項第十五號中「船舶每一箇金十錢」ヲ「船舶每一箇金五錢」ニ改ム

〔鹽田忠左衛門君演壇ニ登ル〕
○鹽田忠左衛門君(七十一番) 私ハ登錄稅法中改正法律案、此改正ハ「登錄稅法中左ノ通り改正ス第三條第一項第十五號中船舶每一箇金十錢ヲ船舶每一箇金五錢ニ改ム」此通ノ案デアリマス、是ハ格別ノ理由ハゴザイマセヌ、理由書ニ「御手許ニゴザイマスル此條ノ理由書ニ書イテアル通ナコトデゴザイマス、前ノ不動產登記ノ稅率ヲ改正ニナリマシタ結果、船舶モ之ヲ改正致シマセネバナラヌコトヲ認メマシタ、本案ハ僅ナモノデゴザイマスケレドモ、改正致スコトニ願ヒマスル、テヨット間違ッタコトガアリマスカラ、其間違ヲ述ベテ置キマス(簡短)ト呼フ者アリ」長ウ申シマセヌ、此間ノ速記録ニ間違ガゴザイマスノデ、船ノコトヲ先達登記ノ登錄稅ヲ申スノヲ、彼中ニ入ッテ居リマセヌ、其稅ガ三十二年デ四千八百九十圓七錢デゴザイマス、又三十三年デハ一万七百二十七圓八十七錢デゴザイマス、サウ致シマスルト三十二年ノ分ガ不動產ノ分デ、登錄稅ガ百八十八萬九千九百八十四圓四十九錢五厘、之ヲ合セマスルト百八十八萬六千八百七十四圓五十六錢五厘トナリマス、又三十三年ノ分ニ至リマシテハ、不動產ノ分ノ登記ノ登錄稅ガ百二十三萬九千九百四十七圓七十七錢トゴザイマス、船舶ノ分ガ一万七百二十七圓八十七錢、合計百二十四萬二千六百七十五圓六十四錢、之ヲ三十二年ト比較致シマス、五萬五千八百圓以上増シマス、然ルニ先達ノ(簡短)ト呼フ者アリ)是ハ能ク申上ゲテ置キマセヌト、アナタ方ガ速記録ヲ御覽シテモ分ラヌコトガ出來テ居ル、是ハ先達二月一日ノ速記録ニ出テ居マシタノハ、百萬圓ノ違ガ出來テ居リマス、百ノ字ガ入ッテ居マセヌ、ソレヲ調ベマシテ申込ミマシタ、ソレハ正誤ガ出テ居リマス、此又三十三年ノ分ニ於キマシテハ、百二十三萬九千九百四十七圓七十七錢ト申シマス、其九ノ字ガ落チテ居リマス、是等ノ所ヲ能ク御覽ニナリマセヌト、合ヒマセヌカラ、此段ヲテヨット申述ベテ置キマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 登錄稅博士ト云フベキ鹽田君デゴザイマスカラ、即決シテ上ゲテモ宜ウゴザイマスガ、免ニ角委員付託
〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

引續イテ出ル、斯ノ如ク頻繁ノ改正デハ、政府ハ應ジラレナイ
○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、特別委員ヲ選バウト云フ動議ガ出マシタガ
〔反對「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) ツレデハ採決致シマス、恆松隆慶君ノ特別委員ニ付託シヤウト云フ説ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第八國債證券買入銷却法廢止法律案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告、長谷場純孝君

第八 國債證券買入銷却法廢止法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)
〔長谷場純孝君演壇ニ登ル〕

○長谷場純孝君(二百二十二番) 國債證券買入銷却法廢止法律案ニ對スル、委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、該法案ノ委員會ハツレノ慣例ノ手續ヲ盡シマシテ、昨年十一月二十四日ニ質問及答辯審議討論ノ結果、三ニ對スル五ノ多數ヲ以テ、本案ヲ可決スルモノト決シマシタ、然ルニ三名ノ少數者ハ少數者ノ意見トシテ、反對説ヲ提出セラレマシタ、其贊成及反對ノ理由ノ如キハ、當時ノ速記録ニ最モ詳細ニ明記シテ、諸君ノ御手許ニ其翌日配付シテゴザイマスカラ、最早私ガ其理由ヲ再ビスルノ必要ナイト思ヒマス、此段御報告ヲ致シマス

○堀越寛介君(九十三番) 少數意見ヲ申述ベマス
〔堀越寛介君演壇ニ登ル〕

○堀越寛介君(九十三番) 唯今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ通、私ハ三人ノ中ノ一人デゴザイマシテ、即チ少數意見ヲ提出ヲ致シテ置キマシタモノデゴザイマス、本案ニ反對ノ理由ヲ述ベマスル前ニ當リマシテ、一言申上ゲ置カシケレバナラヌト云フノハ、彼ノ清國債金特別會計法案ト、此國債銷却買入法トハ、兄弟畜ナラザルノ關係ヲ有シ居ルコト、思ヒマス、然ルニ清國債金特別會計法案ナルモノハ御撤回ニナリマシタガ、此案ニ限ッテ御撤回ニ相成ラヌト云フノハ、如何ナル譯デゴザイマシタラウカ、甚ダ怪訝ニ堪ヘナイコト、思ヒマス、併シ此事ニ附キマシテハ、尙ホ未論ニ至リマシテ、辯シマスル積デゴザイマスルガ、委員長ノ御報告デハ、唯速記録ニアルト云フノミデゴザイマスカラ、反對論者ノ即チ根據ト致シテ居リマスル所ノ議論ヲ、一ニ申上ゲマシテ、之ニ辯駁ヲ致シマスル積デゴザイマス、(簡短)ト呼フ者アリ

極ク私ハ簡短ニ申シマス、反對論者ノ先ヅ第一ニ申サレル所ハ、本案ノ如キモノガ、即チ國債銷却買入法案ト云フモノガアルガタメニ、公債ノ信用ト云フモノヲ回復ヲシナイ、公債ノ價格ヲ維持スルコトガ出來ナイ、丁度之ヲ換言シテ見マシタナラバ、百圓ノ價ノアルモノガ百圓ノ價ヲ致サヌノデアル、此買入銷却法ト云フモノガアルガタメニ、斯様デアルト云フノガ第一

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 此間土地ノ登錄稅ノ改正ガ出タノデスガ、又

〔贊成ト呼フ者アリ〕

ノ御論デゴザイマシタ、此點ニ向ヒマシテ、本員等ハ思ヒマスルノニ、公債ノ價格ト云フモノハ、決シテ此買上銷却法ガアルガタメニ定マルモノニアラズシテ、即チ需要供給ト金利ノ高下トニ依ツテハ定マルモノデアアル、即チ經濟ノ原則トシ、經濟ノ原理ニ依ツテ支配サレルモノデアアルト云フコトヲ、主張シタデゴザイマス、需要ガ多クナツテ、需要ガ供給ニ比シテ多クナレバ、必ズ公債ガ昂ルノデアアル、又供給ガ需要ニ比シテ多イト云フ場合ニ當リマシテハ公債ハ下落スルノデアアル、又金利ガ高クナツテ來ル、高クナツテ公債ノ利子ヨリ高イト云フ場合ニハ、必ズ公債ガ安クナツテ來ルノデアアル、デス様ニ此需要供給ト、即チ金利ノ高下トニ依ツテ、公債ノ價格ト云フモノガ支配セラレルモノデアアルト、本員等ハ信ズルノデアアル、而シテ獨リハ理窟ノミデハナイ、既ニ事實ニ於テ明デアアル、明治二十九年ニ國債銷却法ヲ發布以前ニ於キマシテ、如何ナル公債ハ價格ヲ有シテ居タカ、如何ニ此歴史ガ證據立テ、居タカト、考ヘテ見マスルト云フト、此銷却買入法ノ出デマセヌ前、即チ抽籤法ノミニ依ツテ行ハレル場合ニ於テハ、安キモノハ八十圓臺デアアル、高キモノハ百五六圓臺デアアル、サウシテ見マスルト云フト、此抽籤法ノミ行ハレル場合ニ於キマシテ、既ニ公債ナルモノハ八十圓臺ト百圓臺ト、價ノ高下ト云フモノガアルノデアアル、斯様ナ事實ガ證據立テ、居リマシテ、抽籤法ガアルガタメニ、抽籤法ノミヲ以テスレバ、公債ト云フモノハ價ガ百圓ハ百圓ノ價格ヲ維持スルト云フコトハ、斷シテナイノデアアル、サウ考ヘテ見マシタナラバ、決シテ此銷却買入法ナルモノガアルガタメニ、公債價格ヲ下落スルト云フコトハナイノデアアル、而シテ又反對論者ノ主張スル所ヲ見マスルト云フト、買入銷却法案ト云フモノガアルガタメニ、政府ガ預金部ニ向ツテ銷却ノミヲ致シノデアアル、ツレガタメニ金ガ民間ニ出ナイ、民間ハ餘澤ヲ受ケナイカラ、此買入銷却法ナルモノヲ廢サネバナラヌト云フノ御説デゴザイマシタ、本員等ハ思ヒマスルノニ、此預金部ニ向ツテ政府ガ銷却——償還ヲ致スト云フノハ、是レ如何ナル譯デゴザイマセウカ、即チ戰後ノ經營——戰後ノ經濟、戰後財政上ノ都合、即チ戰後ニ於キマシテ、公債ナルモノヲ多ク發行致サネバナラヌデ、多ク發行ヲ致スト云フ場合ニ當ツテ、民間ニノミ募ルト云フコトハ、ナカク困難デアアル、即チ預金部ニ向ツテ募ル、之ニ向ツテ募ルト云フ場合ニハ、之ニ向ツテ又多クノ償還ヲスルト云フコトモ、是レ亦已ムヲ得ヌノデアアル、此戰後ノ財政ヲシテ斯ノ如クナラシメタルモノハ、何人ガナラシメタデアアルカ、即チ議會ノ如キモ責任ヲ負ハネバナラヌデゴザイマセウ、決シテ法案即チ此買入銷却法ナルモノガ、其様ニナシタニアラズシテ、所謂當局者ト議會トガ斯様ニ致シタノデアアル、然ルニ永遠ニ存スベキ所ノ此銷却買入法ナルモノヲ、一時ノ現象ノタメニ廢棄セラレルト云フノハ、一時ノ現象即チ戰後ノ經濟ノ有様ノタメニ、之ヲ廢棄セラレ、ト云フノハ、抑私ハ有識者ノ取ラザル所デアラウト信ジマスル、況ヤ我國ノ公債ハ如何デゴザイマセウ、我國ノ公債ノ種類ノ多イコトハ、實ニ非常ナモノデアアル、又利息ノ違フテ居ルコト、云フモノハ、非常ナモノデアアル、苟モ今日財政整理ノ任ニ當ル所ノモノガ、斯様ニ紛雜、斯様ニ複雜致シテ居ルモノハ、十分整理シナケレバナラヌト云フコトハ、將ニ目前ニ來ツテ居ルノデアアル、サレバ此時ニ當リマシテ、買入銷却法ナルモノガゴザイマセウケレバ、之ヲ買上ゲテ以テ整理ヲスルト

云フコトハ、ナカク困難デゴザイマスル、否ナ出來ナイノデアアル、故ニ此今日ノ場合ニ於キマシテハ、此法案ト云フモノハ實ニ大々的必要ナリト斷言ヲ致シテ差支ナイコトデアアル、而シテ私ハ是ヨリ進デ、此買上銷却法ナルモノガ、如何ナル利益ヲ生ズルモノデアアルカト云フコトヲ、一言申上ゲル積デアアル、御承知ノ通國債ナルモノハ、國民ガ永遠ニ償還ノ負擔ヲ負フ所ノ租稅デアアル、サレバ之ヲ銷却スルニ方リマシテハ、國民一般ニ利益ヲ與フル如キ所ノ方法ヲ用ヒルト云フコトハ、最モ適當デアアル、此國民一般ニ利益ヲ與フル所ノ方法ハ何デゴザイマセウ、抽籤法デアアルカ買入銷却法デアアルカ、即チ買入銷却法デアアル、何トナレバ買入銷却法デアアル、百圓ノ額面ノモノヲ八十圓若ハ八十五圓デ以テ買上ゲル、サウ致シマスレバ十圓トカ十五圓トカ云フモノハ、後年度ノ豫算ニ組入レラレテ、ソレダケ即チ國民ノ負擔ト云フモノガ輕クナルノデアアル、後年度ニ於キマシテハ、後年度ノ豫算收入ノ中ニ組入レラレルノデアアル、組入レマスカラシテ、國民——即チ取モ直サズ國民ノ負擔ガ輕クナルト云フ結果ニナルノデアアル、既ニ諸君ガ御承知ノ通、先般大藏大臣ガ申サレタノハ、買入銷却金ハ一千二百萬圓デアアル、之ヲ假ニ八十五圓デ買上ゲルト致シマスナラバ、所謂國家全般ハ幾ラノ得ガ往クカト云ヘバ、百八十五萬圓ノ利益ガ既ニ生ズルノデアアル、御承知ノ通、我國ノ公債ハ殆ド五億ニ近イノデアアル、五億ニ近イ所ノ此公債ノ八十五圓デ以テ買上ゲルト、先ツ假ニ假定致シマスナラバ、幾ラノ國家ガ利益デアアルカ、即チ七千五百萬圓以上ノ利益デゴザイマス、併ナガラ私ハ絕對ニ抽籤法ヲ廢スト云フノデアアル、抽籤法ト所謂買上法トヲ兩方ヲ相用ヒマシテ、兩様共相用并テ以テ償還法ヲ行ハナケレバナラヌト云フノデアアル、デゴザイマスルガ、唯斯様ナル買入銷却法ト云フモノハ、斯様ニ國家ニ利益ヲ與ヘルモノデアアルト云フコトヲ、證據立テルトコトガ出來ルノデアアル、ソコデ若シ此反對論者ノ如クニ、買入銷却法ヲ止シマシタナラバ、如何デゴザイマセウカ、即チ彼ノ事業公債ノ如キ、アレハ額面以下デ應ジテ居ルデアアル、又今日ノ公債ヲ所有シテ居ル人ト云フモノハ、大抵八十圓若クハ八十五圓デ買上ゲテ居ルノデアアル、即チ初ヨリ段々轉帳シ來ツテ、八十圓トカ八十五圓トカ云ウテ買上ゲテ居ルノデアアル、買上ゲサウシテ所有シテ居ルノデアアル、此場合ニ政府ガ抽籤法ヲ以テ、百圓ヲ百圓デアツテ參リマシタナラバ、國家ノ損ト云フモノハ如何デゴザイマセウカ、非常ナル國家ガ損ヲシナケレバナラヌト云フ所ノ、結果ヲ生ズルデアアル、非セウ、又償還法ハ——此抽籤法ハ如何ナルモノデアアル、抽籤法ナルモノハ所謂此日本ノ公債ハ、外國ニモ參ツテ居リマスルシ、又外國ハ勿論内地ノ各地方各方面ニ向ツテ、散亂シテ居ルノデアアル、ソコデ此抽籤ニ依ツテヤルト云フ場合ニ於キマシテハ、其抽籤セラレタル所ノ地方ト云フモノハ、誠ニ僅少デアアル、所謂千圓トカ、或ハ二千圓トカ、或ハ五百圓トカ云フノガ、北海道ノ端若クハ琉球、若クハ九州若クハ壹岐對馬ト云フガ如ク、誠ニ散亂ヲ致スノデゴザイマス、斯様ニ散亂ヲ致シタ小資本ト云フモノヲ以テ、事業ヲ起スニハ足ラナイ、即チ斯様ニ小ナル所ノ金額ノ如キモノハ、妻子眷族ノ帶ヲ買上ゲトカ、或ハ著物ヲ買上ゲトカ云フ如キモノニ歸依サレルノデアアル、然ルニ此國債買上銷却法ニ依リマスト云フト、所謂ドウ云フ便利ヲ得ルカト云ヘバ、外國ニ於テ公債ガ今日ノ如ク安イト云フ場合ニハ、外國ニ向ツテ其公債ヲ一時

ニ買上ゲルコトガ出來ル、又大阪デアルトカ、京都デアルトカ、或ハ長崎デア
ルトカ、或ハ東京デアルトカ云フヤウナ場合ニハ、其地方ニ於テ頻ニ資本 急
ヲ告ゲル——資本ノ急ヲ告ゲルト云フ場合ニハ、之ニ向テ又此法ヲ以テ買上
ヲ致スノデアアル、サウ買上ヲ致シテ往キマスト云フト、所謂大資本ガ一時ニ其
地方ニ這入りマスカラ、一方ハ經濟ノ救済ヲサレル、一方ニ於キマシテハ事
業ヲ爲スト云フコトガ出來ルノデアアル、若シ此資本ト云フモノガ、御承知ノ通
餘リ小ナル場合ニ於キマシテハ、決シテ仕事ガ出來ルモノデアハナイ、大資本
ガ集マシテ始テ事業ト云フモノヲ爲スコトガ得ラレルノデアアル、斯様ニ此國債
證券買入法案ナルモノハ、斯様ナル利益ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、況ヤ又
此銷却法ガゴザイマセトキハ、如何デゴザイマセウカ、公債ガ下落ヲシテ來
タ、下落ヲシテ來タ場合ニ當ッテ、之ヲ救済スル、即チ之ヲ高クシヤウ、此價
ヲ維持サセヤウト云フト云フコトハ、此法案ヲ以テ政府ガ即チ買上ゲルノデアアル、
買上ゲテ始テ其價ヲ維持シツ、參ルノデアアル、既ニ政府ガ——此法案ガ發布
以來、政府ガ斷行シテ以テ公債ノ維持ヲ爲シタト云フコトハ、諸君ハ御記憶
アラセラル、デゴザイマセウ、斯様ニ以テ考ヘテ見マスト云フト、實ハ此銷
却買入法ナルモノハ、實ニ永久ニ存續ヲ致シテ、永久ニ國家ガ財政ト經濟トヲ
併セテ以テ、其調和ノ宜シキヲ得セシムルト云フノニハ、此法案ニ若クハナ
イノデアアル、故ニ英國ト謂ヒ、獨逸ト謂ヒ、佛蘭西ト謂ヒ、何レノ國デモ皆
之ヲ用ヒテ居ルコトデゴザイマス、既ニ先進國ニ於テハ經驗ノ上——經驗ノ
末斯様ナルコトヲ考ヘ出シテカラニ、用ヒツ、アルノデゴザイマセウ、我國
ニ於キマシテ之ヲ用ヒルノモ、實ニ亦已ムヲ得ザルコトデゴザイマセウ、又
斯様ナル方法ヲ用ヒナケレバ、財政ト經濟トノ調和ヲ圖ルト云フコトハ、ナ
カノムツカシイコトデゴザイマセウ、終リニ臨ミマシテ一言申シマスルノ
ハ、曩キ申シマシタル如ク、提出者ハ清國債金特別會計法案ヲ既ニ撤回ヲサ
レテ、政府ノ財政計畫ニ一方ハ賛成ヲセラレ、一方ニ於キマシテハ此法案ヲ
可決サレテ、サウシテ政府ノ財政計畫ヲシテ、牽制シ自由ナラシメナイ、取
モ直サズ一方ニ於テハ賛成ヲ爲シ、一方ニ於テハ破壞ヲスルト云フノデアアル
是ハ如何ナル譯デゴザイマセウカ、有識ナル所ノ提出者ハ、疾ニ御考アラセ
ラル、ニハ違ヒナイ、違ヒナイガ斯様ナコトヲシテ、此法案ヲ出シテ衆議院ヲ
可決サセテ、而シテ後ニ貴族院ニ於テ潰サセヤウト云フ御考デアアルカ、抑、斯
様ノ御考ヲ以テ御撤回ニナルト云フナレバ、私ハ議場ヲ弄ブモノ、甚シキモ
ノト斷言致シマス、ドウゾ該案ノ如キモノニハ、御賛成ナカラコトヲ偏ニ
希望致シマス、聊簡短ニ反對ノ理由ヲ陳述致シマス

○政府委員(大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 國債證券買入銷却法ヲ廢サレ、法律案ガ、議題ト
爲リマシタガ、元來國債買入銷却法ナルモノハ、經濟上一ノ文明ノ利器デゴ
ザイマス、財律上經濟上ノ料理ヲ爲シマスルニハ、極テ必要ナル法律デゴザ
イマス、御承知ノ通ニ我國ノ公債モ、内外ニ餘程巨額ノモノガ發行シテゴ

ザイマス、將來内外ノ公債ヲ整理致シマスル上ニ附キマシテモ、此買入銷却
法ト申スモノハ、最モ必要ナルモノデゴザイマス、元來此買入銷却法ハ我
國ガ發明シタノデハゴザイマセウ、既ニ諸外國ガ實驗上ノ結果、最後ニ此買
上法ヲ制定シテ、目下施行シツ、アルノデゴザイマス、是ハ世ノ進歩ト共ニ
必要ヲ感シテ、出來テアルモノデゴザイマス、然ルニ今一時ノ我經濟上財政
上ノ變體ヲ見テ、直チニ此法ヲ全廢セントスルコトハ、如何ニモ謂レナイ
コト、且ツ廢止ノ結果ハ、財政上經濟上ノ料理ヲスルニ附イテハ其妙用ヲ缺
キマシテ、必ズ將來差支ヲ來スコト、存ジマスガ、故ニ、本案ニハ政府ハ同
意ヲ表スルコトハ致兼ネマスルカラ、詳シク申上ゲルマデモナイ、今堀越君
カラ御話モゴザイマシタデ、モウ簡短ニ申シマスルガ、ドウカ本案ハ否決セ
ラレコトヲ、偏ニ希望シマス

○尾崎行雄君(五十二番) 議長

○議長(片岡健吉君) 修正說ナラバ、先ツ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決フシ
テ、其後トデ爲スッタラドウデス

○尾崎行雄君(五十二番) 直チニ第二讀會ヲ開カレンコトノ動議ヲ發スルノ
デアリマスガ、其所以ハ唯今堀越君等ノ辯ゼラレル中ニモ、既ニ豫算ニ協贊
ヲシタ後ハ、是ハ不都合デナイカト云フ議論モアリマスルガ、是ハ第二讀會
ニ於テ主張スベク、本員等ガ既ニ提出シテアル所ノ修正案ヲ知ラザルガタメ
ニ、斯ノ如キ議論ガ出ルノデアリマスルガ故ニ、本來ハ此場合ニ於テ言フベ
キモノデアハナイケレドモ、二讀會ヲ開クト云フコトニ賛成ヲ求ムルガタメニ
第二讀會ニ於テハ三十五年度ト云フノヲ、三十六年度ト修正スル提案者ノ考
デアッテ、既ニ其提出案ハ議長ノ手許ニアルト云フコトヲ、此處テ話シテ置
キマス、又序ニ言フベキコトハ、三十六年三月三十一日限廢止スト云フナラ
バ、此議會ニ於テ此法律ヲ制定セナイデモ、マダ間ニ合フデハナイカト云フ
疑ガ起ルデアリマセウガ、ソレハイケヌノデアリマス、買入銷却法ヲ行フト
行ハスト云フコトハ、豫算ヲ編成ノ際ニ於テ定ムベキコトデアッテ、而シテ
其豫算ナルモノハ、例年六七ノ頃編成ニ著手セナケレバナラヌモノデアリマ
スガ故ニ、此議會ニ於テ此法案ガ通過シテ居レバ、此法案ニ依ッテ此來ルベキ
六七ノ豫算編成ノ際ニ、此心持テ豫算ヲ作ル、若シ本案ガ通過シテ居リマセウ
ケレバ、矢張從前總總テ買入銷却ニシテモ構ハヌト云フヤウナ根柢デ、豫
算ヲ編成致シマスルガ故ニ、之ニ賛成ノ人デアアル以上ハ、今日之ヲ通過シテ、
豫算編成ノ際ニ實行セシムルヤウニセナケレバ、役ニ立タヌノデアアルガタメ
ニ、三十六年度ト修正スルニモ拘ラズ、此議會ニ於テ是ヲ通過センコトヲ
希望スル所以デアリマス

○贊成(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クベシト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開カウト云フ動議モアリマシタカラ、
先ツ二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトヲ、採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開カウト
云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(笑聲起ル)大ニ我輩ハ不利不便ガアルト考ヘルノデアリマス、既ニ此經濟上ニ附キマシテハ、新聞紙上ニ於テ彼此論辯シテ居リマスカラ、今我輩ガ喋々スル必要ハナイト信ズルノデアリマス、殊ニ此工業上ニ對シマシテハ、既ニ京都地方杯ニ於キマシテ、染物ニ「タマノリ」ト稱スルモノニ使用スル所ノ鶏卵ハ、一年ニ其支出額ガ數十萬圓ニ及ブノデアリマス、殊ニ此工業上生産費ヲ高メルト云フコトハ、實ニ間接直接ノ損害ヲ被ルト云フコトハ、明々瞭々タルコトデアルト私ハ信ズルノデアリマス、尙ホ又國民ノ健康ト云フコトニ附キマシテハ、申スマデモナイ、當時ハ此鶏卵ガ廉價ニシテ、衛生上必要ヲ感シマシテ、細民一般ニ行渡ッテ居ル、殊ニ又此醫術上ノ必要、若クハ西洋菓子及料理ノ食料ト云フモノニ附キマシテハ、段々此需要供給ノ度ガ高マッテ來テ、生活ノ都合ガ進ムト共ニ、衛生ノ思想モ進デ、尙日本ガ追々進ムニ從テハ、益々必要ヲ増スノデアリマス、斯ル鶏卵ガ高價ニナルトキニハ、如何ナル影響ヲ及スカ、吾々ノ信ズルノニ、人世上必要ナ品ハ安イガ上ニ、尙々安クナルガ、當然デアラウト思ヒマスノニ、然ルニ一箇ノ鶏卵ガ四錢或ハ六錢ト云フコトニナッテ居ラバ、生産製造若クハ職工車夫ノ口ニ入ルコトガ、ナクナルト思フノデアリマス、尙ホ又提出者ノ根據トシテ述ベラル、所ノ趣旨ハ、何處ニ在ルカト云ヘバ、農業ノ副産ヲ保護スルノデアアル、農業ノ副産ヲ保護スルト云フコトニ附キマシテ、委員會ニ於テモ段々議論ガアリマシタガ、政府ハ今日マデ此養鶏ト云フコトノ事業ニ附キマシテハ、聊モ獎勵ヲシテ居ラヌ、如何ナル保護モ爲シテ居ラヌノデアリマス、又一方カラ實際ヲ考ヘマシレバ、決シテ提出者ガ云フ如ク、支那ノ鶏卵ヲ輸入スルカラト云ッテ、是ガ壓倒ヲスルト云フヤウ事ナ實ハナイノデアリマス、其實際ノ調ヲシテ見マシレバ、二十二年カラ二十三年マデ、其調ニ據ルト數量ナリ價格ト云フモノハ、既ニ三倍ニナッテ居ルノデアリマス、尙ホ現在ノ國產ハ増加シツ、アルノデアゴザイマス、鶏卵ノ產出益々殖エテ行クノデアリマス、尙ホ此農家ニ於テ自家ノ食料ニスルトカ、又ハ其他一村ニ於テ出來ルダケノモノガ、捌ケルト云フコトデ、アツタナラバ、決シテ此農業ノ副産業ニ影響ハナイト、私ハ信ズルノデアリマス、尙ホ此内地ノ生産物ヲ保護シナケレバナラヌ、此鶏卵ニ限ラズ支那カラ來ル米若クハ豆、豆糟、段々ニ此方針ヲ以テ保護シテ往クト云フコトデアツタナラバ、養鶏家ガ倒レルヨリハ、國民ガ倒レルト私ハ信ズル、清國ノ生産ニシテ、彼ノ國ニ於テ養鶏ノ事業ニ鍛練デアアル、又其他ニ於テモ適當ナル産物ト有無相通シテ、互ニ利益ノアルモノハ、ドシト買ッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、尙ホ又我國ノ養鶏ト云フコトニ附キマシテハ、偏ニ此増稅ガ保護獎勵ガ必要デハナイト思ヒマス、是ニハ他ニ保護スル途ガアリ、獎勵スル所ノ途ガ多クアルト私ハ信シマスノミナラズ、是ハ將來ニ於テ大ニ必要ナコトデアルト考ヘマスルノデアリマス、尙ホ進デ此原案ニ附イテ、聊カ陳辯ヲ致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、此原案ハ實ニ不備不完全ナル所ノ案デアツテ、是ニハ施行期日モ極メテナイノデアアル、尙ホ委員會ニ於テ種

種ノ質問ヲシ、又之ニ必要ナル所ノ其統計ヲ請求致シマスレバ、政府ハ二十三年ノ統計ヲ示シテ居ル、若クハ一夜造ノ表ヲ以テ、吾々ニ説明ヲ致シタノデアリマス、故ニ委員ハ少モ満足ヲシテ居ラヌ、是ニ附イテノ其十分ナル見込ガ立ッテ居ナイノデアリマス、尙ホ又漫然タル此ノ突飛ノ稅率ヲ以テ、既ニ此原案ハ九割ノ稅ヲ課スルト云フコトデアリマスガ、是ハ等シク禁止稅デアル、此鶏卵ヲ輸入ヲ杜絶スルト云フト云フ目的デ、此案ヲ出サレタモノト思ヒマス、是ハ決シテ實際ニ行ハル、コトデナイノデアアル、然ラバ此修正說ノ五割ト云フコトハ、何ニ據ッタカト云フト、是レ亦據リ所ガナイノデアリマス、唯折衷說ニ止ッテ、一ニ五ヲ掛ケテ五倍ニスルト云フダケノ、實ニ分ラナイ說デアツテ、其說明ニ一箇ニ付イテ四厘位高クスルト云フ、神輿君ノ御說ガアリマシタガ、如何ナル算法カラ出タカ、吾々ハ一向解スルコトガ出來マセヌ、一箇二錢五厘ノ玉子ニ五割ノ稅ヲ掛ケルト、殆ト四錢ニナリマス、吾々ハ之ニ對シマシテ、其說ヲ枉ゲテ、二割五分ト云フ委員ノ說ニ同意ヲ致シタノデアリマス、此二割五分ト云フコトハ、最モ保護スベキ所ノ砂糖、若クハ茶ハ二割五分ニナッテ居ル、又「珈琲」ノ如キハ二割デアアル、其他輸入スル所ノ飲食物ハ、一割五分ニナッテ居ル、シテ見マシレバ此二割五分ト云フモノハ、此關稅法中ノ最モ最高額ニ依ッタモノデアツテ、見ナラバ如何ニモ高イ上ニ高イ所ノ稅額ニナルノデアリマスカラ、吾々ハ既ニ廢案說ヲ唱ヘマシタケレドモ、少數デ倒レマシタ以上ハ、之ニ依ッテ少數意見ヲ出シタノデアリマス、最モ此案ノ精神ト云フモノハ、前ニモ述ベマシタ如ク、僅ナ資本ヲ以テ此投機ノ事業トスル所ノ養鶏家、誠ニ少數ナル者ヲ惠ンデ、國民ニ損害ヲ與ヘルト云フ誠ニ惡案デアアルノデアアル、吾々ハ免ニモ角ニモ此稅法ノ激變ト云フコトハ、取ラナイノデアリマスカラ、ドウカ願ハクバ諸君ハ、公平ナル判斷ヲ以テ、此二割五分說ニ御贊成アラントヲ希望致シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 絕對ノ反對說ガアリマセヌカラ、本案ノ此第二讀會ヲ開クト云フコトニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

〔直チニ第二讀會ヲ開クコトヲ望ミマス〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案 第二讀會

○議長(片岡健吉君) 委員會ノ少數ノ意見ニ、定規ノ同意者ガアリマスカ

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 定規ノ同意者ガアルト認メマス、鹿島秀督君

(鹿島秀督君演壇ニ登ル)

○鹿島秀督君(百五十九番) 本員ハ先刻少數意見ヲ提出ニナリマシタ中村君ノ、二割五分ニ増稅ヲスルト云フ説ヲ、賛成致シマスル理由ヲ述ベマス、過日來委員會ニ於キマシテ、段々此案ニ附イテ討論ヲ遂ゲマシタコトニ附イテハ、御承知ノ速記録ニ於テ、御承知ノコトデアリマスカラ、重複ヲ省キ、且又本員ハ元來此案ニ對シテハ絶對ノ反對、即チ現行稅法ヲ可ナリト致ス説ノ者デゴザイマシタガ、本會ニ於キマシテハ、已ムヲ得ズ此中村君ノ二割半説ヲ賛成致スノデアアル、而シテ聊カ此案ニ對シテ、所見ヲ敷衍致シタイト思ヒ、マス、元來此案ノ趣旨ヲ一理由書ニアリマス趣旨ヲ見マスルノニ、我内地ノ產卵ガ壓倒セラレツ、アルト云フコトガ、主眼ニナツテ居ル、壓倒セラレルガ故ニ、之ヲ保護スルノデアアル、是ガ論旨ニナツテ居リマスルガ、願ミテ實際我國ノ生卵ガ、果シテ壓倒セラレル、カ、セラレツ、アルカト云フ一點ニ至リマシテ、甚ダ怪訝ニ堪ヘヌノデアアル、政府委員ニ就イテ聽キマシテモ、決シテ壓倒セラレタル所ノ事實ハ、未ダ見出サヌ、又自分ガ狹キ耳目ヲ以テ見聞致シマスル所ニ於テモ、決シテ我國ノ產卵ガ壓倒セラレツ、アルト云フノ事實ハ、未ダ發見セヌノデアアル、ナゼト申スニ却テ此壓倒セラレザルノミナラズ、大ニ進歩シツ、アルト云フノ事實ハ、歴然トシテ居ル、何ヲ以テ之ヲ申スカト云フニ、二十三年ニハ、例ヘバ三分ノ一ヨリナカッタ所ノ玉子ガ、即チ三倍ニ三十二年ニ於テハ至ツテ居ルト云フノハ事實デアアル、大藏省ノ統計ニ依ツテ明ニ示セラレテ居ル、又價格ニ於キマシテモ、二倍強ノ價格ヲ保テツ、アル、保ツテ居ルト云フコトハ、即チ事實デアアル、シテ見マスレバ產卵ノ箇數ハ、年々月々段々ト產出ヲ、此文明ノ進歩ト共ニ、我國民ガ滋養衛生ノ念慮ヲ高メツ、アルト共ニ、此必要ニ應ジテ供給ハ進ミツ、アルノデアアル、而シテ決シテ此我卵ヲ拵ヘル所ノ者ガ、値段ガ次第々々ニ下ガルカラシテ、此業ヲ止メル、甚ダ養鶏業ハ迷惑ナル、農業副産ノモノデアアルト云フ嘆聲ハ、未ダ我等耳ニ這入ラヌノデアアル、決シテ這入ラヌノデアアル、ツレハ唯一種ノ專業養鶏家ト云フモノガアツテ、其人ガ云フノデアアル、併シ個々各自ノ副産トシテ、五羽ナリ十羽ナリ、實ニ此次第二行渡タル所ノ、此日本ノ非常ニ嘉スベキ所ノ此養鶏業ニ於テハ、決シテ其不平ハ聽キマセヌノデア、又事實ツレダケノ差引キ引合ヒマスルカラシテ、段々進ムノデアアル、若シ引合ハナンダナラバ、需要ガアリマシタ所ガ、何ガタメニ増シマセウカ、産額ハ今申上ゲル通り、數ノ上ニ於テ一數字ニ於テ明ニ段々ト進ミツ、アルノニ、壓倒セラレル、ト云フノヲ以テ、之ヲ一番ノ骨子ニシテ居ル、政府ニ於テ愈々壓倒セラレタル例ヲ質問致セバ、政府ハ漢タル答ヲセラレテアル、ナゼカト云フニ、十年昔二十三年ノ統計ダケヲ示シタ、是ハ私ハ實ニ怪訝ノ至リニ堪ヘズ、一面大藏省ノ方カラセラレタ所ニ於テハ、十年コチラノ三十二年ニ於テハ、九億三千何某ト云フモノガ出テ居ル、然ルニ唯農商務省ノ方デ聞キ

マスレバ、二十三年ニ三億三千万箇ト云フヨリ他ニ、其以來ハ殘念ナガラ統計ハナイ杯ト云フテ答ヘル、實ニドウモ不可思議千万ダ、決シテ左様ナコトハナイ、又實際卵ノ額ガ漸次低クマリツ、アルカト云フト、全國ノ事業ハ非常ナ速力ヲ以テ進マスガタメニ、卵ノ値段ハ次第々々ニ引上ゲラレツ、アル、卵ハ此需要ニ伴ヒ値段ハ高マリツ、アル、事實ハ決シテ反對ニ逆比例ニ下ツテ行クト云フコトハナイ、ナイノニ何故ニ損害ヲシマスカ、損害ヲシナケレバコト、擴張スルト云フコトハ事實ガ證明シテ居ル、唯僅ナル專業養鶏家ト云フ人ハ、成ル程我國ニ適セヌノデアアル、適セヌカラ相當ノ利益ガアツテモ、尙ホ之ニ飽足ラズシテ、以テ輸入卵ト云フモノニ、大ニ課稅シマシタナラバ、自分達ノ營業ノ利益ヲ増スデアラウト思フノデアアル、ツレハサウナルカモ知レマセヌガ、其代リニハ之ニ決スルニ方リマシテハ、利害得失カラ打算シナケレバ、決定ハ出來マイト確信シテ疑ハヌノデアアル、實ニ此今日卵ノ必要ナルコトハ、我國ノミナラズ、免ニ角國家ノ生存ノ上ニ、必要トナル品デアルト云フコトハ、申上ゲルマデモナイ、而シテ之ヲ重ニ必要トスル者ハ、軍人又ハ學生、勞働者、貧困ナ病人等ニ至リマシテハ、此物ノ値段ガ高クナルト又安クナルト云フモノニ附イテ、影響スル、利害ヲ被ル所ハ、實ニ著大ナルモノデアアルト思ハレマス、而シテ此案ヲ今決定致シマスニハ、本員ガ見渡ス所、即チ程度ノ問題ニナツテ居ルト思ヒマス、免ニ角本員ハ原案全體廢棄ト云フコトヲ打棄テマシテ、少數意見ナル中村君ノ二割五分ト云フモノニ賛成致シマス、又一方ニハ九割稅ヲ主張セラル、所ノ諸君モゴザイマセウガ、免ニ角此委員會ニ於テハ五割稅ヲ唱ヘテ、是ガ多數ヲ得タト云フコトデアアル、然ラバ何レニシテモ、是ハ程度デアアル、唯論旨ト云フモノハ、本員ハ認メヌ、論旨ハ認メヌガ、免ニ角ドウモ此處デ幾分カ増稅ヲシテ、試ニ即チ一割ノモノヲ二割半ニ致シマシテ、輸入ニモツレダケノ高マリガ生シマスルガ、ツレヲ忍ビテ實行致シテ、而シテ又其時ニ於テ尙ホ増加セザルヲ得ザル所ノ理由ヲ見出シタナラバ、尙ホ其時ニ増スモ遲カラズ、本員ガ見マスレバ、全ク程度論デアリマスカラ、之ヲ五割可ナリ、之ヲ九割ニ増ス可ナリ、之ヲ二割半ニシテ最モ可ナリ、斯ウ云フ所ノモノガ、即チ今日ノ本會ノ本題ヲ判決スルノデアラウト信シマスガ、若シ此多數ナル多額ナルモノヲ、急激ニ増加致シタナラバ、今申上ゲタ所ノ必要ナル品物ノタメニ、國家ノ生存ニハ今申上ゲマシタル種類ノ數者ノモノニ影響ヲ來シ、其國ガ間接ニ受ケマス害ト云フモノハ、非常ナル損ヲ受ケンケレバナラヌト確信致シマス、故ニ今此利益ヲ得ル所ノモノハ、誠ニ少クシテ、サウシテ不利益ヲ被ルモノハ、宏大無量ト申シテ宜イト思ヒマスカラ、先ツ二割半ノ程度ヲ以テ、此處ニ中村君ノ説ヲ成立セシメタイト、希望シテ止マヌノデアリマス(「簡短」ト呼フ者アリ)然ラバ最早既ニ滿場ノ諸君ニ於キマシテモ、論旨ヲ能ク承知ノコト、存シマスカラ、未ダ申シタイコトガアリマスルケレドモ、是デ止メマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 政府委員ニ御尋ヲシマス、此卵ハ非常ニヤカ

マシキ論ニナリマシタガ、詰リ其程度ノ問題ト思ヒマス、此問題ニ附イテ政府ハ如何ノ意向デアリマスカ、折角政府委員ノ和田君ガ出テ居リマスカラ、和田君ニ之ヲ承リタイ

(政府委員農商務省農務局長和田彦次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今ノ質問ニ簡短ニ答ヘマスデゴザイマセウ、政府ハ目下ノ養鶏業ノ實況ニ照シマシテ、關稅ノ定率ヲ増シマスルコトノ必要ヲ認メテ居リマス、而シテ其程度如何ト云フコトニ附キマシテ、畢竟政府ノ認メマスルノハ、收入ヲ増サンガためニ、此必要ヲ認ムルノニアラズシテ、内地ノ多數ノ農家ノ副産業ヲ發達セシメンガためニ、此必要ヲ認ムルノテゴザイマスルカラ、最早此法律ヲ改正致シマスル以上ハ、全國農家ノ副産業ヲ發達セシムルニ足ル、其目的ヲ達スルニ足ルダケノ都合ヲ、増率スルヲ必要ト認メマスル、而シテ其増率ノ點ニ至リマシテハ、定メシ諸君ニ於テ十分ナル御腹案モゴザイマセウレ、十分ナル御討議ヲ要シテ下サルコトヲ望ミマス

○島田三郎君(三十七番) 内地ニ専門養鶏家ト云フモノハ、何軒ゴザイマシテ、其産出スル所ノ高ハ、農商務省デ調ガゴザイマスカ

○政府委員(和田彦次郎君) 御答申シマス、専門ノ養鶏家ト云フモノハ、全國ニ何軒アルカト云フコトハ、茲ニ明ニ答ヲ致スコトハ甚ダ難シマスル、併ナガラ凡ソドノ位アルト云フコトハ、調ベテ居リマス、ソレデ必シモ何軒ト云フコトハ、茲ニ斷定スルコトハ、甚ダ困リマス、云フモノハ、ドウモソコマデ御承知ノ通、日本ノ統計モ十分往テ居リマセウ、月々業ヲ廢スル人モゴザイマスレバ、或ハ業ヲ起ス人モゴザイマス、故ニソレラノコトハ、詳ニ申上兼ネマス

○島田三郎君(三十七番) 養鶏家ノミナラズ、總テノコトガ或ハ廢シ或ハ興スノハ當リ前デアル、定メシ農商務省デ調査セラレラデアラウガ、今マデアル儘ニ就イテ、調ベラレタ所ノ事實ヲ、御示ニナルコトガ出來マスカ

○政府委員(和田彦次郎君) 先ツ三十三年ノ末ヲ申上グマス、唯今ノ所ハ調ベテ居リマセウ、三十三年ノ末ノ調ニ據リマスレト、四十二軒ト考ヘマス

○島田三郎君(三十七番) 四十二軒デ、凡ソ産出高ト資本ト伴ッテ居ラナケレバ、漠然タルモノデイケマセウ、伴ッテ居リマスカ

○政府委員(和田彦次郎君) ソレハ唯今ノ御問ハ何軒アルカト云フ……

○島田三郎君(三十七番) 其軒數ノアル上ニ於テ、統計ト云フモノハ斯ウ云フ事實ヲ見、利害ヲ見ル基本ガナケレバナラヌ、軒數ガ四十軒デ、出來タ高ハ……

○政府委員(和田彦次郎君) イエ、家ノ軒數デアリマス

○島田三郎君(三十七番) ソレガ何軒

○政府委員(和田彦次郎君) 四十二軒

○島田三郎君(三十七番) 其四十二軒デ産出スル卵ノ額ハドノ位、然ラザレハ養ヒマスル鶏ノ頭數幾許

○政府委員(和田彦次郎君) ソレハ此處ニ調ハ持ッテ居リマセウ

○島田三郎君(三十七番) 併ナガラ統計ト云フモノハ、總テノ例ヘバ銅ノ統計デアレバ、産額ガナケレバ何ノ役ニモ立タヌ、ソレニ御世話ガアツタカ、或ハ調ベガ附イテ居ルカ

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今此處ニ調ベテ持ッテ居リマセウ、唯軒數ハ私ガ記憶レテ居ル所デアリマス

○島田三郎君(三十七番) ソレデ分ラヌト云フコトデ、ソレデハ……

○田口卯吉君(二百五十七番) 尙ホ質問致シタウゴザイマス、政府委員ノ此ノ四十二軒ノ養鶏家ト云フモノハ、何時頃カラ起ッテ居ル、今日其養鶏ト云フモノガ、盛ニナッテ居ルカ衰ヘテ居ルカ、數年間ノ沿革ヲ、ドウカ……

○政府委員(和田彦次郎君) 御答申シマス、唯今申シマスル通ニ、鶏ガ何羽居ッテドウデアルカ、斯ウデアアルカト云フコトハ、記憶致シテ居リマセウ、唯今四十二軒ト云フコトハ、記憶ニ存シテ居ル所ヲ答ヘタ、デ左様御承知ヲ願ヒマス

○田口卯吉君(二百五十七番) 政府委員ニチヨット質問致シマスル、趣意ヲ申述ベナクチヤアナリマセウガ、保護スル必要ガアルト認メラレノハ、其養鶏ノ事實ガ、衰ヘテ來テ居ルト云フ點カラデゴザイマスカ、ソレトモ進んで往クガ、モウ少シ進メヤウト云フ意味デアアルカ、ソコラノ意味ガ分リマセウケレバ、全ク吾々ハ其事情ガ分ラヌ譯デ、唯政府委員ハ其事情ヲ知ラズ、唯關稅ヲ上グレハ宜イト云フ御考デアアルノカ、ソコヲ伺ヒマス

○政府委員(和田彦次郎君) 御答致シマス、現今ノ養雞ノ實況ハ、十年前若クハ五年前ヨリ退步シテ居ルトハ認メマセウノデ、進ミツ、アルト云フコトハ、認メテ居リマスケレドモ、需用ノ増加致シマスル都合ニ、進歩ガ伴ッテ居ラヌト云フコトヲ認メテ、居ルノデ

(「ロヤ」)又ハ「質問終結」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 西原清東君

(西原清東君演壇ニ登ル)

○西原清東君(二百八番) 農民ノためニトカ、或ハ輸入商ノためニトカ、部分ニ著眼シテ本問題ヲ審議スルコトハ、避ケタイモノデアリマス(「ロヤ」)

ト呼フ者アリ)敬愛スル中村君ハ、本案ノ提出者ハ愛知縣ノ諸君ガ多イト云フコトヲ言ハレタ、左様ニ見レバ反對スル諸君ハ、神戸ノ諸君、大阪ノ諸君、京都ノ諸君、横濱ノ諸君、東京ノ諸君ト云フコトニ、又見ユルノデアアル、斯ノ如キ著眼ハ甚ダ無禮デアルト信ズル、國民全體ノ利害ノ上ニ考察ヲ置カンケレバナラヌト信シテ居ル、サウシテ本員ハ、委員長ノ報告ニナリマシタ修正案ヲ、贊成スルノデアリマス、是ハ國民ノ必要ナル要用品ガ、便利ニ安價ニ得ラレンコトヲ望ムメデアリマス、保護スルニハ本案ハ必要デアルト認メル

故デゴザイマス、何故ニ必要デアアルカト申シマスレバ、私ハ農民ノ副業ト云フヤウナコトヨリモ、國民ノ食物タル此卵デアリマスルガ、實ハ支那カラ來

ル安キ物ガ、實際其卵ダケノ價值ガアリマスルニ於テハ、縱令副業ノタメニ、實ニ農民ノ經濟ヲ助クルタメニ其キコトデモ、割愛シテ輸入ヲ仰ギタイト思フデアリマス、サリナガラ此支那輸入ノ卵ト云フモノハ、名ハ卵デアリマス、形ハ卵デアリマスケレドモ、此卵ト云フモノハ、農商務省ノ學術上ニ於テ検査シテ、其成績ニ據リマスルト、産卵後一日ニ零コシモノ零々一七若クハ零コシモノ零々一八ノ程度ニ於キマシテ、分析上ノ滋養分ガ減少致スノデアリマシテ、三週間經過致シマスルトキハ、零コシモノ一五ト云フ所ノ滋養分シカ、ナイコト、爲リマシテ、是ガ二十日乃至四十日モ經過スルト、腐敗トマデニハ往カナイケレドモガ、全ク滋養分ガナクシテ、腐敗ニ傾イタ物ニナラテ、決シテ營養ニ適セナイト云フ結果ヲ得テ居ルデアリマス、是ハ專門ノ學術ニ於テノ調査デアリマスカラ、反對ノ調査ヲ聽カザルマデハ、信ズベキ價值ガアルト、私ハ信ジテ居リマス、又大學ニ於キマシテ調査シタ所ノ意見ニ據レバ、支那輸入卵ニハ危險ナルコト、彼ノ「パチルス」ノ「ヂストマ」ガ澤山ニアツテ、日本ノ卵ニハ危險ナルコト、彼ノ「パチルス」ノ「ヂストマ」ガ多量ニアルト云フコトヲ、公衆ニ對シテ演説ヲシテ居ルコトガアリマス、衛生ノ局ニ當ル所ノ山根君ガ、此事ヲ調査シテ發表致シテ居ルデアリマス、サレバ此輸入卵ト云フモノハ、凡ソ上海附近ヨリ其田舎ヨリ蒐集シマシテ、荷造ヲシテ一週間内外ノ航海ヲ經テ、日本ノ輸入商ノ手ヲ經テ、内地ノ市場ニ回ルノデゴザイマスカラ、少クモ三週間ハ既ニ經過シテ居リマス、ソレ以上ニナルコトモ無論アリマセウ需要者ノ手ニ入ルマデニハ「ソレカラ」此夏分ハ、決シテ我國ニ輸入スルコトノ出來ナイモノデアリマス、故ニ夏分ニハ輸入ハナイノデアリマス、ソレカラ是等ノコトハ、實際卵ヲ手ニ取ツテ需要スル人ハ、大抵避ケテ輸入卵ハ用ヒナイノデアリマス、如何ナル部分ニ是ガ用ヒラレルカト云フコトヲ、主務省デ調査シタ結果ニ據リマスルト、下等料理屋、菓子ノ即チ「カステール」杯ノ材料ニスル、即チ卵ノ色合ト、卵ノ匂ヒト、卵ノ形ヲ見セルタケノ材料ニ供スルノデアリマス、實ハ其滋養分ト云フモノハ全クナイ、唯安キヲ主トスル所ノ原料ニ供セラレテ居ルノデアリマス、是ダカラ折角此滋養品ト看做サル、所ノ卵タル、實際ノ價值ガナイデアリマス、此卵ノタメニ内地ノ生産ガ妨グラレテ居ルト云フ事實ハ、如何デアアルカ、是ニ附キマシテハ、九州ノ農事大會ニ於キマシテ、輸入税ヲ高メテ内地ノ生産ヲ保護センケレバナラヌト云フ決議ヲシタ、同一ノ決議ヲ東海農區デシタ、又關東農區デシタ、次ニ昨年ノ十月、日本全國ノ農事大會ニ於テ決議ヲ致シマシタ、ソレノミナラズ昨年ノ議會ニ於キマシテ、衆議院ニ此請願ガ顯レテ來テ、吾々ハ如何ニ決シテ採擇スベキモノト決シテデアリマス、其衆議院ノ決議ニ依リマシテ、主務省ハ如何ニシタカ、是ハ採擇スベキ必要アルモノト認メテ、徐ニ調査ニ掛ツテ、調査ノ結果、主務省ニ於テモ適當ナル程度ニ於テ保護スベキ必要アリト認メタ、斯ノ如キ事實經過ガ茲ニアリマス、而シテ又主務省ノ

和田君ガ、委員會ニ於キマシテ調査ノ成績ヲ報告シテ居ル所ニ據リマスレバ、輸出ノタメ内地ノ生産ガ挫折致シタコトハ、ドウ云フ模様デアアルカト云フ、鹿島君ノ御尋ニ對シマシテ「挫折致シテ居ル所ノ調査ヲ申上ゲマス、御説ノ通數字ニ顯レヌデハ、確實ト認メマセヌカラ、實ハ當局ニ於テモ調ベマシテゴザリマス、先ツ愛知縣ノ實例ヲ舉ゲマス、明治三十年ニ於キマシテ、一万五百箱、二百六十八ノ箱ヲ他へ出シテ居リマス、ウレガ明治三十四年ニナリマシテハ七千箱ニナリマシタ、差引キマシテ三千五百箱、愛知縣下ニ産卵ノ數ト云フモノガ、減シテ居リマス、備前ノ例ヲ取調フ致シタ所デハ、明治三十年ニハ三百八ノ箱ヲ千箱出シテ居リマシタ、ウレガ明治三十四年ニナリマシテハ八百箱ト爲リ、差引キ二百箱減シテ居リマス、備後備中ニ於キマシテハ、實例ヲ申上ゲマスレバ、明治三十年ニ於テハ一万六千七百七十箱、二百八十八ノ箱ヲ出シテ居リマシタガ、三十四年ニ於テハ一万五千五百箱ニナリマシタ、差引キマシテ四千六百二十箱減シマシタ、淡路ノ實況ヲ調ベマス、明治三十年ニハ六千五百箱二百八十八ヲ出シテ居リマシタ、ウレガ三十四年ニハ五千四百箱ニナリマシタカラ、千箱差引キ減シマシタ、土佐ハ明治三十年ニハ八千七百箱二百八十八ヲ出シテ居リマシタノガ、三十四年ニハ六千二百箱ニナリマシタカラ、一千五百箱減シマシタ、日向薩摩ニ於キマシテ四百五十八ノ箱ヲ三十年ニハ四千四百四十箱出シマシタノヲ、是ガ重ナル所ノ挫折ヲ致シタ調査デゴザイマス」斯様ニ現レテ居リマスル

○鹿島秀磨君(百五十九番) 演説中發言ハ許シマセヌ

○西原清東君(二百八番) 演説中ハ暫ク御免ヲ蒙リマス

○鹿島秀磨君(百五十九番) ソレダケ讀デハイケマセヌ……

○議長(片岡健吉君) 演説中發言ハ許シマセヌ

○鹿島秀磨君(百五十九番) 議長ガ許シマシタ

○議長(片岡健吉君) 許シマセヌ

〔衆議院規則ヲ見ルベシト呼フ者アリ〕

○西原清東君(二百八番) 斯ノ如ク内地ノ生産ノ實況ガ、僅カ百万圓乃至百五十萬圓ノ輸入ノ卵ノタメニ挫折セシメラル、ハ、如何ナル譯デアアルカト聽キマスルニ、支那地方ニテハ卵ガ誠ニ安イ、殆ド支那ノ内地ニテハ卵ノ需要ガガナイ、落チテ居ルモノヲ、拾フガ如クニシテ、集メラル、ノデアアル、故ニ一錢ニ附キ三ツ程買ヘルケレドモ、日本其他へ輸出ノ事業ガ始ツテ、日本ノ輸入商業ガ競争シテ買ヒマスル結果、此節ノ相場ハ大抵一錢ダサウニゴザイ

マス、其一錢ニ輸入税ノ一厘位ト荷造費運賃ヲ掛ケマシテ、日本ノ市場へ來ルマデニ一錢三厘ノ實價ニナルサウニゴザイマス、其一錢三厘ト御承知ノ通、内地ノ卵ハ二錢カラ乃至二錢二三厘デゴザイマセウ、是程ノ開キガアリマシテ、輸入商ハ非常ニ利益ヲ得マセウガ、内地ノ生産ノ上ニ妨害ヲ及スト云フコトハ、餘程明瞭ナルコトデアラウト信ジマス、外國ノ例ヲ聽キマスルト、亞米利加杯ニテハ千八百九十二年ニ一打即チ十二箇ニ對シマシテ五錢、即チ我邦ノ十錢ノ輸入税ヲ掛ケテ、内地ノ生産ヲ保護シタ結果、當時ニハ六十三萬圓ノ輸入ガアリヨツタモノガ、今日ハ一萬三千圓バカリシカノ輸入ガナイコトニナツテ、輸出ハ二百万圓ヲ超過スル程ノ輸出ガ、現レル結果ニナツテ居ルサウニゴザイマス、又濠太刺——濠洲ニ於キマシテハ、是マデ一打ニ附キマシテ、保護税二十八錢ヲ掛ケテ居ルサウニゴザイマス、然ルヲ當時ノ議會ニ於キマシテ一打ヲ八十三錢ニ我邦ノデス——我邦ノ八十三錢ニ上ゲヤウトテ、今審議中ダサウニゴザイマス、支那ノ卵ハ何處へ往クカ、日本カ、濠洲カ、亞米利加デアリマセウ、左様ニ此支那カラ出テ住ク先地ハ、皆内地ノ生産ヲ保護シヤウトテ、輸入税ヲ引上ゲテ居ルノニ、日本ガ千箇ニ附キ一圓十一錢何厘ト云フガ如キ、現在ノ程度デ到底此内地ノ生産ガ、競争ガ出來ナイト云フコトハ明瞭デア、故ニ海關稅ヲ適當ノ程度ニ引上ゲマシテ、之ヲ保護スルト云フ必要ハ動カスベカラザル理由ガアラウト信ジマス、斯ウ云フ必要カラ、此案ガ成立マシタ所ノモノ、實ハ反對ノ位置ダ、反對ノ位置デドウモ給對的反對ト云フト、同意者ガ少イカラ、チット寄り添ウテ來テ、然ラバ穩當ナ増額ヲシヤウト云ツテ、二割半トカ、三割半トカ、種々ニ内實ガ絕對的反對ノ御趣意デアリナガラ、其増額ヲ主張セラル、ト云フ次第デアラウト、私ハ認メテ居リマス、其證據ニハ即チ其二割說三割說ノ議論ノ基ク所ハ、概ネ稅ヲ上ゲネバナラヌ必要ヲ少モ言ハナイ、サウシテ唯高クシテハナラヌト云フニ外ナラヌコトデアッタト思フ、ソコデアス、日本ノ卵ノ全體ガ、今千五百万程ノ金額ニモナルサウニゴザイマスガ、是ガ幾許カ保護スルト云フコトニナツテ、多量ノ生産ガ現レテ來ルコトニナリマシタナラバ、卵ハ恐ラクハ相當ノ代價デ、内地産即チ滋養物ノアル實力ノアル卵ガ、得ラレルデアラウト信ズルノミナラズ、斯様ニ此卵ノ生産ヲ盛シニシヤウトスル結果ニ伴ツテ、肉ガ盛ニ發賣セラル、デアラウト思フ、鶏肉ガ盛ニ發賣セラル、デアラウト思フ、今日ハ輸入ノ相場ノタメニ、卵ノ市價ハ驟騰セラレテ、割合ニ安イケレドモ、内地ノ此鶏肉ナルモノノ相場ハ、御承知ノ通極テ高イ、此實ニ貴重ナル衛生上ノ材料タル雞肉ガ高イト云フ事柄ハ、國民ノタメニ悦ブベキコトデアナイト信ズル、故ニ今原價ガ一錢、ソレニ運賃ヤ荷造費ガ三厘程掛ル、ソレニ五割トスレバ五厘上ル、一錢八厘位ノ程度ニナル、ソレデモマダ内地ノ二錢乃至二錢三厘程ナ卵ニ比シテモ、幾許カ安イ、安イト云フノハ實際實物ガ價ガナイカラ、ソレダケノ開キヲ置クノ必要ガアルデアラウト思フ、此事柄ハ主務省ニ於テモ相當ト

認メテ居ルヤウニ私ハ開イテ居ル、若シ不相當デアラナラバ、經濟ノ狀態ヲ保護スルガタメニ、若クハ内地ノ生産ヲ保護スルガタメニ、反對ナラ反對ト言フベキ筈デア、ソレヲ明白ニ贊成トモ言ハヌケレドモガ、恐ラクハ此修正案ニハ當局者ニ於テモ贊成デアラウト信ジマス、是ハ何分ニモ當院及貴族院トモ幸ニ通過致シマシテ、獨リ全國ノ農民ノ副產業ガ進歩致シマスルノミナラズ、國民全體ノ上ニ必要ナル所ノ需要品ガ、供給セラル、ヤウニナランコトヲ望ミマスルガ故ニ、暫時御清聽ヲ讀シマシマス

○議長(片岡健吉君) 島田三郎君

(島田三郎君演壇ニ登ル)

○島田三郎君(三十七番) 全體此衆議院ハ、經濟上ノ問題ニハ餘リ議論ガ盛デゴザイマセヌデ、政治上ノ問題ニ熱ヲ生ジマスルガ、料ラズ此案ガ出マシテカラ、唯今西原君ノ壯快ナル演說ヲ聽キマシテ、殊ニ私ノ喜ビマスノハ、西原君ハ一切感情ヲ去ツテ、事實ト數字ニ據ツテ、辯論ヲ致サレタノハ、甚ダ傾聽スベキ所ノ御說デアッタト、本員ハ聽取リマシタ、ソレ故ニ本員モ亦本員ノ信ズル所ニ據リマシテ、數字ニ據ツテ西原君ノ御說ハ、虛偽ノ上ニ立テラレタル所ノ、僻說デアルト云フコトヲ證據立テナケレバナラヌ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)斯ノ如キコトヲ決シマスルニハ、冷靜ノ腦髓ヲ以テ、事實ノ上ニ穩當ナル決著ヲ得タイト思ヒマスガ、先ツ第一ニ本案提出者ノ說明ヲ聽キマスルト、數年前ニ於テハ二三十萬圓デアッタ所ノ支那輸入ノ鶏卵ガ、近年ニ至ツテ百万圓ノ餘ニ達シタノデア、斯ノ如クナレバ漸々多クナルデアラウ、斯ク多クナツテ參レバ、内地ノ養禽家デ壓倒セラ、コトハ疑ナイ、故ニ増サナケレバナラヌ、斯ノ如キノ理由デゴザイマスルガ、抑、外ノ鶏卵ガ内ニ這入リマスルノハ、内ヲ壓スルノ結果ハアルガ、然レドモ内外共ニ供給ガゴザイマシテモ、需要ガ一時ニ増シタガタメニ、竝ビ行ハレテ國民ノ必要ヲ充タシテ居ルカト云フコトヲ、決著シマシタナラバ、直ニ利害ノ判斷ガ附クデアラウト本員ハ思ヒマス、詰リ本員ノ見ル所ニ據リマスレバ、國民ノ生活ノ度ノ漸々ニ上リマス、衛生家ガ斯ノ如キ滋養物ヲ勸メマスルノト、竝ニ今マデ農家デハ之ヲ外ニ賣出ス所ノ産額ト致シテ居タノヲ、衛生並ニ生活ノ上進ト共ニ、自家ノ需要ニ供シマスルタメニ、淡路ノ例及其他ノ例ハ大阪若クハ京都へ出ス代リニハ、其土地々々ニ需要セラル、ノ結果カラ、農商務省ノ觀察鈍キ統計家ガ、斯ノ如キ統計ヲ出シタノデアラウト思ヒマス、其證據ニハ二十二年ノ調ニ據リマスルト、全額三億七千九百七十三萬八千九百二箇、是ガ内地ニ生ジタ鶏卵ノ總額デ、此價ガ二百三十九萬二千三百八十三圓ニナツテ居リマス、然ルニ二十三年ノ内地ノ總產出額ハ、九億四千九百三十九萬七千二百五十五箇、此金額ガ千三百二十九萬零八百六十二圓ト云フコトニナツテ居リマスレバ、總額ニ於テハ駭キトシテ進デ居リマシテ、更ニ外ヨリ壓迫セラレタル證據ヲ見出サヌノデア、然ルニ何ガ故ニ、總額ガ殖エテ居リナガラ、淡路ヤ土佐ノモノダケガ減ルカト云ヒマスレバ、是ハ

總計ノ智識ヲ持ッテ居ル所ノ人ハ、直ニ比較的精神ヲ以テ觀察シナケレバナ
 ラヌ要點デアリマス、淡路ヤ高知ノモノガ減ッタカラ、總體ガ減ッタト云フニ
 至ッテハ、統計ノ智識ノナイ無學者ノ説ト私ハ思ヒマス、何トナレバ値段ハ
 ドウカト申シマスルト、二十二年ハ千箇六圓デアッタモノガ、二十三年ニ於
 テハ千箇十四圓ニナッテ居リマス、斯ノ如クニシテ、農家ノ副産物ガ他ニ壓
 セラレタリト論結スルノハ、本員ガ無學者ナリト評シテ、否シテ失禮デハナ
 イト思フノデアリマス(「ヒヤク」ト呼フ者アリ)總額ガ殖エテ居ル、總額ガ
 殖エテ居ルガ、内外共ニ供給ガアツテモ、其供給ヨリ以上需要ノ増シタト云
 フコトヲ、確定シ得ベキ本員ノ論ガ正シト、本員自身ハ深ク左様ニ信ジマ
 ス、且ツ農商務省ガ全體斯ノ如キコトニ喩ヲ容レル權利ハナイノデアアル、
 四十二軒ノ養禽家ハアルケレドモ、産額ハ分ラヌト云フ、斯ノ如キ人ガ何故
 ニ此論壇ニ立ッテ喩ヲ容レル權利ガアリマスカ、況ヤ本員ノ承ッテ居ル所ニ據
 リマスレバ、唯今本員ノ舉ゲタ所ノ二十二年ノ總額統計ハ、農商務省ノ出シ
 マル所、三十三年ノ總額統計ハ大藏省ノ出シタル所、斯ノ如キ農商務省ノ
 委員ガ、如何ナル面目ヲ以テ此論壇ニ立ッコトガ出來マスカ、總額ヲ知ラズ
 全國ノ養禽家ノ産額ヲ知ラズシテ、幾軒アルト云フコトハ、統計上ニ何等ノ
 智識ヲ與ヘマスカ、本員ハ取ルニ足ラザル所ノ、笑フベキノ議論デアルト思
 ヒマス、然ルニ斯ノ如キ政府委員ノ意見ヲ議員ガ御聽ニナッテ、重イ證據ト
 セラル、ニ至ッテハ、不見識モ亦極レリト本員ハ信ジマス(「ヒヤク」ト呼
 フ者アリ)副産物トシテ斯ノ如キモノデアツテ、詰リ苦情ヲ言フ者全國
 ノ養禽家デ、此養禽家ガ僅々四十二軒全國ニ成立ッテ、ドレ程ノ用ヲ達シ
 マスカ、然ルニ是等ノ前途疑ハシキモノ、タメニ、斯ノ如ク駭々トシテ増スモ
 ノヲ、外カラ這入ッテ來ル物ヲ止メレバ、其割合ニ全國ノ鶏卵ノ値段ガ上ガリ
 マス、此値段ノ上ガルノハ、需要者ニ不便ヲ與ヘ、貧民ヲ惱メ、病人ヲ惱メ、
 書生ヲ惱メ、兵隊ヲ惱メル所ノ、彼ノ專賣ノ我慾者ノタメニ、總體ノ多數ノ
 人ヲ苦ムルト云フコトニナルト云フコトニナルデアリマスルカラ、本員ハ
 此壇ニ登ッテ辯ゼザルヲ得ヌノデアリマス、且又智識アリ氣ニ論ゼラレマシタ
 ガ、先刻ノ西原君ノ説ヲ取ルニ足ラヌト思ヒマスルノハ、西原君ノ説ニ據レ
 バ、然ラバ何故ニ禁止セザルカト問フノデアリマス、西原君ハ雙方ヲ比較シ
 テ、質ノ善イモノナラバ外カラ這入ルタメニ、内地ノモノヲナクシテモ宜イ
 ガ、併ナガラツレガ惡ルイ、其證據トシテ滋養少シ且「ヂストマ」ノ病モアルト
 云ハレマシタガ、若シ此論法ヲ以テスレバ、何故ニ西原君ハ九割説ヲ賛成セラ
 レズシテ、五割説ヲ賛成セラレマシタカ、辯論ハ壯快ナリト雖モ、稍智識ヲ
 持ッテ居ル者ハ、聽クニ足ラザル所ノ、僻説デアルト言フテモ、更ニ失禮デナイ
 ト思ヒマス、且ツ此「ヂストマ」ノ事ニ附イテハ、現在此席ニ出テ居ラレ且ツ衛
 生上ノ智識ヲ持ッテ居ラレル所ノ、熱心ニ支那鶏卵ヲ排斥スル論者ノ、有力ナ
 ル鈴木萬次郎君ハ「ヂストマ」ノ病アルト云フコトハ、マダ未定ナリト云フコ
 トヲ自白セラレテ居ル、又山根正次君ハ「ヂストマ」ハ多クアルト言ハレタ

カ知レマセヌガ、本員ノ知ッテ居リマスル所デハ、我國ニ於テ熱心ナル衛生
 家中濱東一郎君ハ、此事實ヲ認メテ居ナイト云フコトヲ、公ニシテ居リマス
 丁度子供ノ戯ノ如ク、私ハ甚ダ斯ウ云フ例ヲ引クコトヲ嫌ヒマスガ、衛生ノ
 上ニ於テ、山根正次君ガ「ツ」ノ證據ヲ出サル、ナラバ、私ハツレニ對シテ中
 濱東一郎君ノ反對ナル證據ヲ出シ得ルノデアアル、是ニ於テ何等ノ信ズベキ所
 何等ノ排斥スベキ所ガアリマセウカ、公平ナル眼ヲ以テ之ヲ觀レバ、此事實ガ
 未定ナリト云フ鈴木君ノ説ガ、誠ニ正直ナリト信ズルノデアリマス、斯ノ如
 キ未定ノコトニ付イテ、偏頗ノ説ヲ出サレルノハ、本員ハ西原君ノタメニ取
 ラザル所デアリマス、斯ノ如キ譯デゴザイマシテ、全體論シテ見マスレバ、
 殆ド取ルニ足ラザル案デアリマス、總額ハ殖エテ居ル、壓セラレタル事蹟ハ
 ナイ、農商務省ハ三十三年ノ總額ヲ知ラヌ、四十二軒ノ養禽家ハアツテ其産
 額ハ知ラナイ、何ヲ根據トシテ國民ノ衛生生活ニ關スルコトヲ議スル權能ガ
 アルカ、本員ハ全體ニ於テ取ルニ足ラザル議論デアルト思フ、一種ノ養禽家
 ノ運動カラ出デタル所ノモノト推察致シマス、ツレ故ニ本員ハ此案ノ通過セ
 ザランコトヲ望ムモノデアアル、農家農家ト言ハレマスガ、農家ノ副産物ハ望
 ガアル、何トナレバ二十二年ニハ六圓デ、三十三年ニハ十四圓トナッテ居リマ
 スカラ、副産物トシテハ日本ニ成立ツベキモノデアゴザイマスケレドモ、多ク
 ノ利息ヲ拂ッテ新規ノ事業ヲ企テル所ノ養禽家ガ、日本ハ外國カラ米ヲ輸入
 シマス所カラ、此食物ヲ買ヒマシテ引合フヤ否ヤト云フコトハ、大ニ考慮ス
 ベキ未決ノ問題ト、本員ハ見テ居リマス、斯ノ如キ未決ノモノヲ、何デ心ヲ
 勞シテ、四十二軒ノ專賣家ヲ保護スル必要ガアリマスカ、農家ハ依然トシテ
 九億四千九百二十四万七千五百五十五箇ニ増シテ居ル、先キノ二十二年ノ統計
 カラ三十三年マデ參リマスレバ、殆ド三倍増シテ居リマスカラ、農家ノ副産
 物ハ望ノナイコトハナイノデアリマス、支那ニ向ッテ海産物ヲ輸入スル利益ガア
 ラズシテ、海島國デアリマスカラ、支那ニ向ッテ海産物ヲ輸入スル利益ガア
 ルト同時ニ、支那ノ大陸カラ來ル米既ニ廉ケレバ、之ニ依ッテ養ヒマス所ノ
 鶏卵モ安イノデアリマスカラ、此廉イ物ヲ專門トシテ抵抗シヤウト云フコト
 ハ、抑々問違デアアル濠太刺利ノ例ヲ引キ、亞米利加ノ例ヲ西原君ハ學者氣ニ
 引カレマシタガ、亞米利加ハ大陸デアツテ、農産物ハ綿ヲ出シ、咖啡ヲ出
 シ、地積ノ廣キヲ以テ實ニ世界ニ有數ノモノデアアル、殆ド支那ニ鬚髯タルモ
 ノデアアルニ、海島國タル日本ヲ之ニ比較シテ、養禽家ノ少數者ノタメニ多數
 ノ者ガ、主タル所ノモノヲ以テ之ヲ補フト云フコトデアレバ、國民ノ生活ニ
 苦ヲ尙ホ増スノデアリマス、西原君ハ事實ニ據リ數字ニ依ッテ論ゼラレタ所
 ハ、本員ノ所感ニ依ルド一ノ價値ノナイ議論デアッタト思ヒマス、斯ノ如キ
 議論ノタメニ、國民ノ生活ニ必要ナル物品ヲ舉ゲテ、後來ニ大ナル不幸ヲ惹
 起スト云フハ、本員ノ甚ダ嘆息スル所デアリマスカラ、絶對ニ之ニ反對デゴ
 ザイマス

(討論終結「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガアリマスカ

(贊成々々)ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ就イテ採決シマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマスカ

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、此採決ハ先キニ委員會ノ少數者ノ意見ニ附イテ採決ヲ致シマス、委員會ノ少數意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマスカ

起立者 多數

(多數々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

○加藤六藏君(二百三十一番) 異議ノ申立ヲシマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○早川龍介君(二百三十七番) 異議ノ申立ニ十分贊成ハアリマスカ

○議長(片岡健吉君) 異議ノ申立ニハ、成規ノ贊成ハナイト認メマス

(アル)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ナイト認メマス、異議ノ申立ニハ成規ノ贊成ハナイト思ヒマスカ

(アル)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 異議ノ申立ニ贊成ノ諸君ハ起立シテ表セラレルヤウニ……

(少數々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガアリマスカ、就イテハ是ハ氏名點呼ヲシテ贊否ヲ表スル譯デアリマスカ、ソレデハ大變時間ヲ取リマスカ、是マデ先例モアリマスカ、無記名投票ニ致シマス、尙ホ念ノタメニ宣告ヲ致シマスカ、今ノ少數者ノ意見ヲ贊成スル諸君ハ白球、少數者意見ニ反對スル諸君ハ黒球デアリマスカ、球ヲ入レマスノニ白球ヲ入レル方ハ、中ガ白ク塗テアリマス、黒球ヲ入レル方ハ黒クシテアリマスカ、ソレヲ間違ナイヤウニ願ヒマス、名刺ニ代ヘルニ席ニ在ル所ノ木札ヲ御持ニナルヤウニ……閉鎖

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(片岡健吉君) 投票洩レノ方ハアリマセマスカ——投票洩レノ方ハナイト認メマス、閉鎖——是ヨリ開匣致シマス

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(片岡健吉君) 名刺ト球ノ數ガ符合シマスカ、投票ノ結果ヲ御報告致シマス

(寺田書記官朗讀)

球數總計二百一

白球(可トスル者) 百十六
黒球(否トスル者) 八十五

○議長(片岡健吉君) 唯今ノ少數ノ意見ガ可決ニナリマシタ

○恆松隆慶君(二百二十四番) 唯今直チニ確定アランコトヲ希望致シマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ、御異議ハアリマセマスカ

(異議ナレ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス、二讀會ヲ決シテ通過デ、御異議ハアリマセマスカ

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

第三讀會

(異議ナレ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定致シマス、此際報告ガアリマスカ

(書記朗讀)

貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ

明治三十五年度歲入歲出總豫算案

○尾崎行雄君(五十二番) 此際ニ於テ日程ヲ變更シテ、唯今報告ニナリマシタ豫算案ヲ議スルト云フ、動議ヲ提出致シマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 尾崎行雄君ノ日程變更ノ動議ハ、御異議ガアリマセマスカ

(異議ナレ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ日程ヲ變更スルコトニ致シマス

明治三十五年度歲入歲出總豫算案(貴族院回付)

○尾崎行雄君(五十二番) 此報告ノ貴族院カラ回付セラレタル豫算案中、衆議院ノ決議ト異ナル所ノ要點ヲ、御報告アリタイ

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

甲號

歳出經常部

司法省所管

第二款 裁判所 金五百八万六千七百七十四圓七十四錢一厘ヲ五百七十七万二千七百七十七圓七十四錢一厘ト修正ス

第一項 俸給及諸給 金二百九十六万七千九百九十四圓八十六錢四厘ヲ三百四万六千七百九十四圓八十六錢四厘ト修正ス

○尾崎行雄君(五十二番) 其他ニハ修正ハアリマセマスカ

○議長(片岡健吉君) アリマセマスカ

○尾崎行雄君(五十二番) 此際ニ於テ動議ヲ提出致シマスルガ、唯今司法官

ノ俸給ガ、衆議院ノ決議トハ少シ増額ニナツテ居リマスルガ、本院ガ前ニ決議ヲ爲シタノハ、段々深く審査シタル結果、斯クアツテ然ルベシト信シテ決定シタノデアリマスル、故ニ今日貴族院ノ修正ニ遭遇致シマシテ、遺憾ナガラ之ニ同意スルコトハ出来マセヌ、直チニ之ヲ否決シテ、協議員會ヲ貴族院ニ向テ求メラレンコトヲ、望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 尾崎行雄君ノ動議ニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス

○尾崎行雄君(五十二番) 協議員會ヲ求ムルノデアリマスガ、協議員ノ員數ハ八十人ト致シマシテ求メラレルコトヲ望ミマス、其十人ノ選舉ノ仕方ハ、各部ニ於テ投票致シテ、通算スルト云フコトノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 尾崎行雄君ノ協議會ヲ求メルト云フコトト、委員ノ選舉ニ附イテノ動議ハ、御異議ハマリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○尾崎行雄君(五十二番) 直チニ選舉ヲ命ジラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ツレデハ各部ニ於テ、直チニ選舉セラレンコトヲ希望致シマス、暫時休憩ヲ致シマス

午後五時七分休憩

午後五時五十三分開議

○議長(片岡健吉君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、是ヨリ兩院協議員ノ選舉ノ結果ヲ御報告致シマス

〔書記朗讀〕

明治三十五年度歳入歳出總豫算案兩院協議會委員左ノ通り當選セラレタ

- | | |
|-------|---------|
| 百二十四點 | 松田 正久君 |
| 百二十四點 | 尾崎 行雄君 |
| 百二十四點 | 大岡 育造君 |
| 百二十四點 | 長谷場 純孝君 |
| 百二十四點 | 杉田 定一君 |
| 百二十四點 | 山下 千代雄君 |
| 百二十四點 | 山本 幸彦君 |
| 百二十四點 | 秋岡 義一君 |
| 百二十四點 | 新井 章吾君 |
| 百二十四點 | 石田 貫之助君 |

○議長(片岡健吉君) 外ニ報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

決算委員補闕選舉ニ於テ山口定省君當選セラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

輸入原料砂糖戻稅法案

提出者 根 本 正君 栗原 亮一君 安藤 龜太郎君

砂糖消費稅法中改正法律案

提出者 安藤 龜太郎君 栗原 亮一君 野尻 岩次郎君

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律案

委員ヲ指定スル左ノ如シ

北海道土功組合法案

新開 貢君 鈴木 忠兵衛君 富永 隼太君

佐藤 昌藏君 首藤 陸三君 門馬 尙經君

岡田 龍松君 江角 千代次郎君 佐藤 里治君

官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案外二件

早川 龍介君 首藤 邦基君 望月 圭介君

持田 若佐君 中埜 廣太郎君 大津 淳一郎君

星野 甚右衛門君 內山 松世君 山内 吉郎兵衛君

倉庫營業ニ關スル法律案

山本 幸彦君 大塚 常次郎君 金田 平五郎君

中村 榮助君 三輪 傳七君 吉田 源八君

登録稅法中改正法律案

森川 六右衛門君 金森 吉次郎君

宮井 茂九郎君 古谷 新作君 田中 喜太郎君

齋藤 卯八君 木村 誓太郎君 大村 和吉郎君

清水 靜十郎君 出田 信記君 鹽田 忠左衛門君

○議長(片岡健吉君) 今日ハモウ閉會ノ時間ガ近寄テ居リマスルカラ、議事ハ是テ止メテハ如何デアリマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、議事ハ是テ止メマス、諸君ニ御諮

リヲ致シマスルガ、此次ノ本會ヲ開ク日ハ、紀元節デアリマス、本會ヲ開ク

日ハ十三日ニナリマスガ、政府カラ緊急報告スル事件モアルカラ、十二日ニ

本會ヲ開イテ吳レヌカト云フ交渉モアリマシタノデゴザイマス、段々議案モ

殘テ居リマスカラ、十二日ニ本會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス、御異議

ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ十二日ニ開クコトニ致シマス、議事日程ハ追ッテ公報ヲ以テ御通知ヲスルコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後五時五十六分散會

衆議院議事速記録第十二號正誤

頁

段

速記録第十一號正誤中下段第三項ヲ削ル

二一八